令和6年度

事 業 実 績 報 告 書

※ 法人本部事業

※ 障害者支援施設　たまりメリーホーム
　　生活介護
　　施設入所支援

※ 短期入所事業　たまりメリーホーム

※ 日中一時支援事業

※ 共同生活援助　こだま

※ 生活介護ひかり

※ 相談支援事業所　たまりメリーホーム

社会福祉法人　敬山会

令和６年度　法人本部事業実績報告書

１．実施事業

事業所名	事業内容	定員	事業開始年月日
障害者支援施設たまりメリーホーム	生活介護	６０　名	1993 年 04 月 01 日
	施設入所支援	５０　名	
	短期入所事業	１０　名	
	日中一時支援事業	５　名	
生活介護事業所ひかり	生活介護	３０　名	2015 年 04 月 01 日
共同生活援助事業所こだま	共同生活援助（グループホーム）	７　名	2013 年 04 月 01 日
相談支援事業所たまりメリーホーム	①一般相談支援事業 ②特定相談支援事業 ③障害児相談支援事業		2007 年 04 月 01 日

２．理事会・評議員会・評議員選任解任委員会の開催状況

（１）理事会

開催期日	内　　容		出席者
令和 06 年 06 月 07 日	報告	①　理事長の職務執行状況報告 ②　監事監査の結果報告	理事　６名 監事　２名
	議案	①　令和５年度事業実績報告（案）について ②　令和５年度決算報告（案）について ③　育児・介護休業等に関する規定の改定（案）について ④　令和６年度定時評議員会の開催について	
令和 07 年 03 月 14 日	報告	①　理事長の職務執行状況報告 ②　茨城県施設一般検査及び障害福祉サービス事業所等の実施指導の結果について	理事　６名 監事　２名
	議案	③　令和６年度第１次補正予算（案）について ④　令和７年度事業計画（案）について ⑤　令和７年度予算（案）について ⑥　育児・介護休業等に関する規則の改定（案）について ⑦　就業規則の改定（案）について ⑧　給与規程の改定（案）について ⑨　令和６年度第２回評議員会の開催（案）について	

（２）評議員会

開催期日	内　　容		出席者
令和 06 年 06 月 22 日	報告	①　理事長の職務執行状況報告 ②　育児・介護休業等に関する規定の改定（案）について ③　令和５年度事業実績報告について ④　監事監査の結果報告	評議員　８名 監事　　２名 理事　　１名
	議案	①　令和５年度決算報告（案）について	
令和 07 年 03 月 22 日	報告	①　理事長の職務執行状況報告 ②　各種規定の改定について ③　茨城県施設一般検査及び障害福祉サービス事業所等の実施指導の結果について	評議員　８名 監事　　２名 理事　　１名
	議案	①　令和６年度第１次補正予算（案）について ②　令和７年度事業計画（案）について ③　令和７年度予算（案）について	

３．監事監査

実施期日	結　　果
令和 06 年 05 月 20 日	指摘事項、提案事項なし

４．社会福祉法人一般指導検査・指定障害福祉サービス事業所等の実地指導

実施期日	指導検査項目	所轄	対象施設等	結果
令和 06 年 09 月 11 日	社会福祉施設一般指導検査	茨城県	社会福祉施設	【指摘事項】 令和５年度貯水槽の清掃が実施されなかったので、水道法及び関係条例の規定に基づき清掃を実施し、その記録を整理・保管すること。 【是正又は改善を要する事項に対する処理状況】 貯水槽清掃については、令和 6 年 10 月 11 日に清掃が完了しました。 水質検査の結果は異常ありませんでした。
	指定障害福祉サービス事業所等の実地指導	茨城県 小美玉市	① たまりメリーホーム （生活介護・施設入所支援・短期入所）	指摘事項なし

５．研修関係（研修会参加状況等は、別に記載）

６．公益的取組み（法人独自の取組）　　※詳細は別に記載

（１）地域清掃活動の実施
（２）福祉車両貸出事業の実施
（３）緊急一時保護事業の実施

令和６年度「社会福祉法人　敬山会」事業実績報告書

【令和６年度重点目標等に対する評価】

重　点　目　標	評　　価
１.利用者の人格や権利及び尊厳に対する尊重を促し、利用者本位のサービスを提供していく ①苦情解決制度の活用 ②身体拘束廃止･虐待防止委員会の定期的な開催と、内容の周知（身体拘束の点検と、虐待防止への取り組み） ③身体拘束実施時の適切な記録 ④身体拘束・虐待防止に関する研修会の強化 ⑤意思決定支援の理解と促進	○苦情について体制は整備されており、利用者懇談会時に第三者委員の方にも参加して頂く予定だったが、都合がつかず不参加となってしまった。また、苦情と要望を分けており、今年度は２１件の苦情と４件の要望が挙げられ、それぞれ解決に向けて取り組んでいる。説明不足や職員個々に対する苦情についても個々の職員が、出された苦情を受け止め、また組織全体のものとして捉え、改善していくようにしている。今後全職員が表面化していない様々な苦情や要望を把握・表出し利用者に一層満足していただく努力が必要である。 ○身体拘束については、身体拘束等適正化のための指針、法人独自で作成した身体拘束基準に沿って、委員会と個別支援計画モニタリング時に身体拘束者の評価を行っている。継続的に拘束が必要な場合は、個別支援計画承諾時に再度説明し承諾を得ている。また日々の拘束時の様子を記録し、拘束時間の短縮や解除に向けて検討を行っている。更にスピーチロック防止についても取り組んでいる。虐待防止に関しては、虐待防止のための指針に沿って、虐待防止委員会にて、職員の良い所を評価するニヤリ・ホット、年２回職員・利用者セルフチェック、自分事として考えられる組織つくり等について取り組み、虐待防止に取り組んでいる。しかし令和７年２月２４日と令和７年２月２５日に不適切な支援が発生し、小美玉市に通報している。今後改善計画を遂行し、再発防止に努めていく。 ○虐待防止委員会にて拘束時の記録の徹底を図り、個別支援計画でも毎月評価を行っている。 ○毎年施設内研修で権利擁護・虐待防止についての研修を行っている。今年は「研修の位置付け・法的根拠」「委員会の取組内容」「理念・事業計画の重要性」「障害者虐待とは何か」「意思決定支援」「身体拘束の適正化」「不適切な支援から適切な支援へ」についての内容で、委員会で研修を行った。また動画を作り、具体的な内容で理解を深めていった。今後グループワークで出された意見について委員会にて検討し、環境改善を図っていく。
２．安心・安全な生活を提供していく ①安全対策委員会中心にリスクマネジメントの実践と充実（事故予防の視点での個別支援計画を作成する） ②車輌、器具機械、設備等の定期的な点検 ③介護技法を見直し、知識・技術の向上を図り、また福祉機器を導入・活用することで、職員の業務負担軽減、安全介護を徹底する ④健康管理、感染症の発生・蔓延防止と発生時の対	○事故発生防止及び事故発生時の対応指針を整備しており、法人として事故報告７１件、ヒヤリハット１４４件出され、安全対策委員会でリスクレベル表に沿って委員会を招集し、対策を検討している。また委員会にてヒヤリハット１５０件を目標に取り組んだが、目標達成には至らなかった。更に事故分析や評価を毎月行っているが、原因不明や繰り返される事故もあるため、評価・対策の強化に努め

応強化 ⑤定期的な防災訓練の実施と防犯対策の強化 ⑥事業継続計画（BCP）に基づく研修・訓練の強化（自然災害・感染症） ⑦安全運転管理の強化（運行前後の車両点検及び目視又はアルコール検知器を用いた点検）	る。また事故予防の視点で、個々にリスクマップを作成し、個別支援計画にて対策を強化している。 ○車輌、器具機械、設備の点検を定期的に実施している。 ○介護技法の見直しを、利用者の状態変化等が生じた時、新規入所者（１名）の入所時等、多職種と連携を取りながら見直してきた。今後も計画的に見直しを実施し、安全な介護技法の習得に努める。また、福祉機器については現在リフトがメリーホームに４台、ひかりに１台、自立支援型移乗介助ロボットがメリーホームに１台、ひかりに１台、ささえ手リフトがメリーホームに１台、ひかりに１台、介護リフトスマイルがひかりに１台、こだまに１台の計１１台で、職員の腰痛予防また安全な介護に努めている。 ○感染症対策については、各種マニュアルを見直し、新型コロナウイルス・インフルエンザ感染防止措置として、ワクチン接種（新型コロナウイルス利用者２１名、インフルエンザ利用者５９名・職員５０名）、基本的な感染対策を徹底して来た。面会や外泊・外出、施設内行事については規制を緩和し、ほぼ通常通りに戻している。その中で新型コロナウイルスの感染者が、メリーホーム職員１４名、利用者２２名（延べ数）、ひかり職員２名、利用者３名、こだま利用者４名の感染者が確認された。インフルエンザはメリーホーム職員１０名、利用者１４名、ひかり職員１名、利用者１名の感染者が確認され、それぞれゾーニングにて対応している。今後も適宜マニュアル、事業継続計画（BCP）を再度見直し、地域に根差したサービスを提供していく。 ○様々な状況を想定し、毎月防災訓練を実施している。また年２回の総合防災訓練を、消防署、消防団、近隣工場の協力を得ながら実施した。更に、小美玉市と災害時福祉避難所として協定を結んでおり、災害時に地域の拠点となるようにしている。防犯に関しては、防犯カメラをメリーホームに７台、ひかりに２台、こだまは５台、こだまⅡに４台設置している。その他、メリーホームに警察と連動している非常通報設備や、メリーホーム事務所とひかりに防犯システムが設置してある。防犯訓練は、石岡警察署より、実技を踏まえた訓練を行い、さすまたも設置している。 ○自然災害事業継続計画については、通報訓練、地震を想定した訓練をマニュアルに沿って実施し、事業継続訓練と位置付けている。感染症事業継続計画については、ガウンテクニック等の研修を行っており、感染症蔓延時に、マニュアルの見直しを行っている。今後事業継続計画の訓練と位置付けて実施していかなければならない。 ○道路交通法により、運行前後の車両点検及び目視又はアルコール検知器を用いた点検が義

	務化されているため、アルコール検知器を使用し、安全運転管理に努めている。事故については、職員の業務中の事故はなかったが、車両貸出時に１件事故があり、保険にて対応している。
３．職員が誇りとやりがいをもち、安心して気持ちよく働ける環境を目指していく ①真の報・連・相を目指し、円滑なコミュニケーションを行う ②職員全員がお互いに尊重し合い、ハラスメントを起こさせない雰囲気作り ③職種に関わらず、お互いの業務について理解を持ち、連携して支援にあたる ④1 人で悩まず、自分事として考え、ひとりも取り残さない、風通しの良い組織づくり	○お互いに情報を共有し合うだけでなく、お互いに共感できるようにすることが必要であり、今後更に円滑なコミュニケーションが必要である。 ○コミュニケーションや情報共有の重要性を理解し、職場力を高めるため、外部講師を依頼し、施設内研修を行い、組織力向上に努めている。また組織全体でハラスメントを意識しながら接するようにしている。 ○常勤の新規採用職員に関しては、各部署の研修を実施し、他部署の業務内容を理解してもらっている。その他の職員もお互いに協力し、連携しながら支援している。 ○組織体制が確立されており、人事考課時また普段の中で上司・同僚に相談している。新規採用職員にはプリセプター体制をとり、月１回の面接を行い、メンタル的なケアも出来るようにしている。今後自分事として考えられる風土を構築していけるようにしていく。
４．地域と協力し合い地域福祉の増進に努めていく ①各事業所との連携強化 ②地域の福祉教育推進、ボランティアの積極的受け入れ、施設行事への参加呼びかけ ③利用者の外出及び社会参加の推進 ④公益的取組み（緊急一時保護事業、福祉車輌貸出事業等）の促進 ⑤施設入所、生活介護、短期入所、日中一時支援利用者の積極的拡大と、サービス内容の充実 ⑥施設広報誌の発刊や、ホームページでの情報開示と、その他ブログ等の SNS を活用した情報発信外部への積極的な情報提供	○メリーホームでは、死亡退所１名、自宅復帰１名、新規利用者は０名であった。施設入所待機者が少ないために、各関係機関との連携を強化し、待機者確保に努めていく必要がある。 ひかりでは新規利用者１名、退所者４名あり、合計２２名の利用がある。また送迎サービスについては、車輌４台で実施し、現在１３名の利用者が送迎サービスを利用している。活動は作業が充実してきており、作業能力に応じて、評価している。また外部講師による音楽活動やアロマケア、その他の日中活動は創意工夫しながら実施しており充実してきている。 こだまでは、入退所はなく、７名の利用者が継続して利用されている。活動は個別の外出を感染症予防に留意して実施している。入浴は夏場に夜間シャワー浴を実施し、ニーズに即した支援ができている。今後こだまⅡ開所に向けて利用者、職員の確保に努めていく。 ○小学校との交流会は新型コロナ感染症流行時より実施していない。ボランティアについても昨年は余暇活動支援で来てもらっていたが、現在は定期的なボランティアはいない。今後行事参加等も含め、福祉教育や行事参加等により、地域福祉の増進に努めていく。 ○新型コロナウイルス感染予防に努め、外出支援や野外散策、１泊・日帰り旅行等、外出行事を行っている。今後も、新型コロナウイルスの感染状況を確認し、感染防止に努めながら実施し社会参加の推進に努めていく。 ○公益的な取り組みについては、地域の清掃活動を３回実施し、小学校との交流については、

	実施していないが、地域行事への係員派遣については、小美玉市にっこり祭り、ナイスハートフェスティバルに職員派遣している。緊急一時保護事業で、小美玉市より３件、の依頼があり、１名の方を受け入れた。その他福祉車輌貸出事業では、延べ４８名の利用があった。更に茨城県社会福祉施設経営者協議会が実施する「いばらき生活支援事業」に登録している。今後も社会福祉法人としての役割を果たすため、地域貢献事業を積極的に行っていく必要がある。 ○施設入所については、待機利用者が少ないため、欠員期間が短期間になるよう、利用者確保に努めていく。生活介護については地域のニーズを把握し、また個々のニーズに対応できるよう活動の充実を図っていく。短期入所に関しては、抗原検査実施の上利用してもらっており、利用者数も増加してきている。今後、新型コロナウイルスの感染状況を確認し、感染防止に努めながら実施していかなければならない。今後感染症に留意しながら、在宅・地域福祉に貢献できるようサービスの充実、利用者確保に努めていく必要がある。 ○定期的に広報誌を発刊し、ホームページやワムネット等を活用し情報開示に努めている。またホームページのブログを充実させ、積極的に情報開示に努めなければならない。
事　業　運　営　計　画	評　　価
１．利用者個々のニーズにあったサービス提供 ①利用者参画のもと個別支援計画を作成し、各部署間での連携・情報共有を密にする。また、利用者の意思決定支援に関し創意工夫を図り、質の高い生活を送れるようにすると共に、地域移行の意思確認も行っていく。 ②利用者個々の尊厳を尊重し、プライバシーや羞恥心等に配慮した支援を行い、完全同性介護について検討していく。 ③季節感のある献立、選択食のより一層の充実を図り、栄養量、栄養バランスを考慮し、衛生管理を徹底することで、安心・安全な食事を提供する。また施設入所事業では、栄養マネジメントにより、個々にあった栄養管理を行っていく。 ④個別リハビリ計画を作成し、機能の維持・回復、更には残存機能を最大限活用していけるように、関係職種と協同しながら取り組んでいく。また日常生活の一環として行えるよう努めていく。 ⑤利用者個々の健康状態を常に把握し、医療機関と連携を取りながら、疾病の早期発見、早期治療に努め、入院することなく生活できるように努める。また健康維持増進のための情報提供を行い、その必要性を理解していただけるよう努める。 ⑤豊かに、有意義に楽しく生活していくために、一人一人の余暇の過ごし方、また様々な役割を果たし、承認される喜びが得られるよう、積極的に支援していく。	○個別支援計画は、利用者も支援会議に参加し、所定の手順に従って作成されている。また毎月評価を行い、プランの実践や必要に応じた見直しに努めている。記録についてはパソコンで記録し、情報が共有され、支援の統一化を図っている。地域移行についてはアセスメント時に意向を確認し、また意思決定支援についてもマニュアルを整備した。今後意思決定支援の充実を図っていく必要がある。 ○プライバシーや羞恥心については、カーテン等で配慮している。また、個々のプライバシーに関することを話す時は、場所をわきまえて話すように心がけている。同性介護について、メリーホームの入浴については実施出できているが、ひかりでは実施できていない。排泄等については完全には出来ない状況である為、利用者の意思を尊重した支援を検討していく必要がある。 ○選択食を３５回、バイキングを１回実施したが、野外食については気温の関係で未実施であった。今後より一層楽しく、変化のある内容にしていく必要がある。また、ハサップに基づいて衛生管理を行い、安心・安全な食事を提供している。栄養管理については、栄養ケアマネジメントにより行い、リスクの高い利用者に関しては、各部署と連携し個別支援計画にて対策を講じてきた。 ○リハビリ計画書を作成し、利用者、家族から承諾を得ている。また定期的に状態確認等を

	行い、日々のリハビリも、各職種で連携を取りながら実施している。今後更に日常生活の中でリハビリを意識しながら取り入れていく必要がある。 ○入院実人員９人、延１４８日と昨年度より２名、２９日減少している。今後も普段の利用者の状態を把握し、些細な変化も見逃さないよう、各部署連携を取りながら、早期発見に努め、医療機関との連携を密にしていく。また、施設内だけでなく、適度な運動や、屋外に出ることの重要性を説明し、積極的な支援をし、健康維持増進を図っていく。 ○日中活動については、各種クラブ活動を計画的に実施し、個別支援計画のもと、個々の余暇活動を支援している。ひかりでは軽作業を積極的に取り組んでおり、その他の日中活動も創意工夫しながら取り組んでいる。
２．職員の資質向上と人材確保・定着 ①創意と工夫にあふれたサービスの提供が出来るように、豊かな発想、多様な視点で業務にあたり、知識・技術・能力の向上に努める。 ②職員の職位職責に応じて適切な時期に育成の機会を提供するため、人事管理制度と連動し、効率かつ能動的に能力開発していく。(Off-JTe-learningの活用と定着) ③各種研修会への参加、資格等の取得等自己研鑽に努めていく。 ④人事考課制度を充実させ、意図的・計画的に職員を育成していく。 ⑤役割を遂行し、会議、委員会等を充実させ、サービスの充実を図っていく。 ⑥福祉機器等を活用し、腰痛予防に努め、腰痛検診を２回/年実施する。 ⑦職員の心身のリフレッシュのため、年次有給休暇の取得促進を図る。 ⑧ストレスチェックを１回/年実施し、職員のストレスの状態を把握し、職場環境改善を図る。 ⑨多様な働き方ができるよう、職員区分を構築し、働きやすい環境を整える。	○総合的な支援に対する知識・技術・能力の向上を目的に、動画研修としてお茶の水ケア学院と階層別に視聴できるDo-Gaを導入し、自己研鑽出来るようにしている。また各部署連携をとり、多様な視点での支援を行うようにしている。 ○研修委員会にて、年間の施設内研修の計画を立て、実施している。また、人事考課面接時に希望研修を把握し、オンライン研修を含め、外部研修に参加し知識・技術の向上に努めている。 ○個々の職員が積極的に資格取得等自己研鑽に励めるように体制を整え、３名の職員が介護福祉士を取得した。現在メリーホームで社会福祉士８名、介護福祉士１６名、精神保健福祉士１名取得、ひかりで、社会福祉士１名、介護福祉士３名取得、相談支援事業では社会福祉士２名、精神保健福祉士１名取得している。個々の希望研修を把握し、人事考課制度とリンクさせ、自己研鑽に努めている。 ○面接前に、職員個々の良いところ、改善事項等目標を明確にし、面接を行っている。また評価後にフィードバックし、個々の成長につながるようにしている。 ○委員会については、支援検討委員会では「ケアガイドライン重点項目について」「クラブ活動の見直し」「各手順書の作成」、虐待防止委員会では「身体拘束の確認」「スピーチロックへの理解と浸透」「虐待防止セルフチェックの実施と改善」「ニヤリホットの必要性と共有化」「虐待（不適切な支援）通報と改善計画」、安全対策委員会では「ヒヤリハット 150 件」「リスクマップの見直し」「リスクマネジメントを意識した取組」給食委員会では「利用者からの意見・要望」「行事食内容の周知」「多職種との共有事項の確認」、衛生管理委員会では「メンタルヘルスケア」「熱中症」「食中毒」「健康診断」「身体を鍛える」「秋バテ」「インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症・マイコプラズマ肺炎」「脳腸相関」「ストレスマ

	ネジメント」「花粉症について」「帯状疱疹」「肥満」、感染症対策委員会では、「新型コロナウイルス感染症５類移行後の対応」「震災後の感染対策について」「新型コロナウイルス発症時の対応」「感染防止対策マニュアル見直し」「食中毒について」「インフルエンザ蔓延に伴う保健所指導」「ガウンテクニック」「ヒトメタニューモウイルスについて」と、合同委員会では事故対策が、身体拘束になるケースもあり、共同で取組み広い視野で改善できるようにし、各委員会の目的に沿って活動してきている。また今年度から生産性向上委員会を立ち上げ、更なる業務改善に取り組んでいる。今後更に取り組み内容を充実させ、各委員会との連携を図りながら、継続的に行って行く。 ○腰痛検診については年２回実施し、福祉機器も使用しており、更に活用・定着に向けて取り組んでいく必要がある。 ○全職員５日以上年次有給休暇を取得しており、生活支援員については、年間で年次有給休暇取得予定の希望を取り、取得してもらっている。 ○Ｗｅｂでストレスチェックが出来る体制が整えられており、各部署ごとにストレスの状態を把握することが出来るようになっている。今後高ストレス者が多い部署について、対策を講じていかなければならない。 ○正規職員での短時間勤務や、正規職員が定年退職後、再雇用する再任用職員で勤務する職員もおり、多様な働き方ができる環境が整っている。
３．緊急時対応の充実 ①常に協力病院と連携を密にし、身体状況等に変化が生じた時には、速やかに医療機関と連携して対応していく。短期入所・日中一時事業については、家族との連携を密にし、必要に応じ医療機関と連携して行う。 ②急変時等には適切な対応が出来るよう、定期的に研修を実施していく。また、急変時の意思確認を行い、人権と生命の尊厳に配慮できるようにしていく。 ③災害発生時または感染症発生時に適切な対応ができるよう、研修・訓練を実施すると共に、備蓄品の管理を行っていく。また災害発生時には、行政と連携し、地域の拠点となれるように努め、感染症発生時には、医療機関等との連携を強化していく。 ④防犯対策を強化し、不審者等に対する対応を適切に行い、安心・安全に生活できるように努める。 ⑤災害・感染症等発生時、継続的なサービスの提供ができるよう、他事業所との連携に努める。 ⑥事故発生防止及び事故発生時の対応、身体拘束等適正化、虐待防止についての研修を実施し、迅速に対応できるように努める。 ⑦より多くの職員が喀痰吸引等の研修を受講し、速やかに実地研修を行うと共に、介護福祉士資格取得のため、実務者研修を推進し、緊急時も安心し	○各部署間で連携を取りながら、身体状況変化の早期発見に努め、医療機関と連携を取りながら適切な治療を行っている。利用者の重度化に伴い、今後更に医療機関との連携と、速やかな対応を強化していく必要がある。短期入所の利用者に関しては、新型コロナウイルス蔓延防止のため、利用前に抗原検査を実施し、陰性を確認した上で利用してもらっている。今後も事前に状態を十分に把握すると共に、家族と連携を密にしながら対応していく。 ○急変時の対応について、小美玉消防署からの研修を実施し、適切に対応ができるよう取り組んでいる。また急変時の対応について意思確認を行っているが、今後定期的な確認を行って行く必要がある。 ○災害時対応については、定期的に防災訓練を実施し、消防署、消防団、近隣工場等とも連携をとっている。備蓄品も定期的に確認し、入れ替えを行っている。また小美玉市と福祉避難所の協定を結んでおり、地域の拠点となるようにしている。感染症対応については、発生時にマニュアルを見直し、適宜修正している。感染対策用品や日用品の備蓄も定期的に確認している。 ○防犯カメラ、非常通報装置を設置し、防犯対策を行っている。また石岡警察署より防犯訓

て医療的支援が行えるように努める。	練を実施し、さすまたも整備している。今後も定期的に訓練を実施し、防犯意識を高めていく。 ○自然災害発生時・感染症発生時の事業継続計画（BCP）について整備はされている。自然災害 BCP については防災訓練時に BCP 訓練として位置付けている。今後感染症発生時 BCP についても定期的に訓練を行って行くようにしていく。 ○事故発生防止・身体拘束・虐待防止に関する内外部研修を実施し、知識・技術が向上してきている。今後も継続していき、研鑽していかなければならない。 ○メリーホーム経管栄養者１０名、痰吸引者７名（内気管切開者２名）、ひかり経管栄養者１名、痰吸引者１名利用している。介護職員等痰の吸引等実施研修に、介護職員２名（特定）が受講し、メリーホーム特定２２名・不特定５名、ひかり特定６名の職員が終了している。また指導者については、看護師２名が研修を受講（特定）し、不特定２名、特定２名の職員が終了している。今後も継続的に行っていく必要がある。

令和6年度　たまりメリーホーム実績報告書

【利用者の状況】

≪入所利用者≫

◆　入退所の状況

）前年度からの継続入所者　52 名
）今年度入所者　0 名
）今年度退所者　2 名　（ 死亡退所　1 名　　その他　1 名 ）
）月別状況

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
月初日既在所者数	A	52	52	52	52	52	52	52	51	51	50	50	50	616
月初日の入退所者数	新規入所者 B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退所者 C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月初日入所者数	D	52	52	52	52	52	52	52	51	51	50	50	50	616
2日以降の入退所者数	新規入所者 E	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退所者 F	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
月末日在所者数 (D-C)+(E-F)	G	52	52	52	52	52	52	51	51	50	50	50	50	614

Dの内訳	県内より	51	51	51	51	51	51	51	50	50	49	49	49	604
	県外より	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
B･Eの内訳	在宅より	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	他施設より	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	病院より	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C･Fの内訳	死亡	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	在宅復帰	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	医療機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	他施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

◆　外泊･入院状況　（減額日数）　＊外泊･入院の初日･終了日は含まない

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
外　　泊	4	9	17	1	15	11	7	31	8	8	5	1	117
入　　院	16	0	20	0	21	11	16	18	21	3	5	17	148
合　計	20	9	37	1	36	22	23	49	29	11	10	18	265

◆　年齢別･性別構成

	25-30 未満	30-35 未満	35-40 未満	40-45 未満	45-50 未満	50-55 未満	55-60 未満	60-65 未満	65-70 未満	70-75 未満	75-80 未満	80歳 以上	計
男	0	3	2	1	3	2	1	4	6	2	1	0	25
女	0	2	3	3	0	4	5	3	1	3	1	0	25
計	0	5	5	4	3	6	6	7	7	5	2	0	50

◎平均年齢等

	最小年齢	最高年齢	平均年齢	
男	31 歳　3 ケ月	77 歳　8 ケ月	55 歳　5 ケ月	54歳　9ケ月
女	31 歳　11 ケ月	75 歳　2 ケ月	54 歳　0 ケ月	

◆　在所期間

	1年 未満	1-2 未満	2-3 未満	3-4 未満	4-5 未満	5-6 未満	6-7 未満	7-8 未満	8-9 未満	9-10 未満	10年 以上	計
男	0	0	1	1	1	3	1	3	1	2	12	25
女	0	2	0	1	2	0	1	1	3	3	12	25
計	0	2	1	2	3	3	2	4	4	5	24	50

◆　親族等の状況

	① 配偶者	② 親	③ 子供	④ 兄弟姉妹	⑤ ①～②以外の親族	⑥ 知人のみ	⑦ 身寄り無	⑧ 不明	計
男	2	13	1	7	1	0	1	0	25
女	2	16	1	5	1	0	0	0	25
計	4	29	2	12	2	0	1	0	50

◆ 入所前の状況

	家庭						福祉施設				医療機関			その他	計
	親と同居	配偶者と同居	子供と同居	その他の親族と同居	独居	その他	児童施設	身体障害者施設	知的障害児者施設	その他の福祉施設	一般病院	精神病院	その他		
男	9			0				8	1		7	0	0	0	25
女	16		1	2				1	1		4	0	0	0	25
計	25	0	1	2	0	0	0	9	2	0	11	0	0	0	50

◆ 障害等級別人員

	1級	2級	その他	計
男	19	4	2	25
女	20	5	0	25
計	39	9	2	50

◆ 障害支援区分別人員

	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男	0	0	3	22	25
女	0	0	3	22	25
計	0	0	6	44	50

◆ 障害福祉サービス支給市町村

市町村	小美玉市	日立市	つくば市	潮来市	牛久市	土浦市	常陸太田市	ひたちなか市	石岡市	取手市
利用者数	2	1	4	2	2	4	1	1	12	1

市町村	鹿嶋市	常陸大宮市	那珂市	かすみがうら市	筑西市	行方市	鉾田市	笠間市	阿見町
利用者数	2	1	1	2	0	3	3	2	2

市町村	茨城町	大子町	東海村	神栖市	県外
利用者数	0	1	1	1	1

◆ 施設入所延べ利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	762	800	767	806	785	762	787	743	776	775	695	758	9,216
女	778	803	756	805	791	776	799	738	750	764	695	774	9,229
計	1,540	1,603	1,523	1,611	1,576	1,538	1,586	1,481	1,526	1,539	1,390	1,532	18,445

◆ 生活介護実利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	28	28	28	28	28	28	29	27	27	27	27	27	332
女	25	26	26	27	27	27	27	26	26	25	25	25	312
計	53	54	54	55	55	55	56	53	53	52	52	52	644

◆ 生活介護延べ利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	597	633	602	634	628	604	625	585	611	616	540	611	7,286
女	550	598	560	598	604	584	610	559	580	575	500	575	6,893
計	1,147	1,231	1,162	1,232	1,232	1,188	1,235	1,144	1,191	1,191	1,040	1,186	14,179

◆ 障害原因別等人員

	25-30未満		30-35未満		35-40未満		40-45未満		45-50未満		50-55未満		55-60未満		60-65未満		65-70以上		70-75未満		75歳以上		合計			比率
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	
脳性まひ			1	2	2	3	0	1	1	1	0	0	3	3	2	0	1	1	0	1	1	0	11	12	23	46%
脳血管障害							0	1					0	1	1	0	1	0	0	0			2	2	4	8%
脊椎損傷等																	2	0	0	1			2	1	3	6%
筋ジストロフィー																			0	1			0	1	1	2%
脳炎後遺症					0	1																	0	1	1	2%
頭部外傷											1	3			0	1							1	4	5	10%
日本脳炎																			1	1			1	1	2	4%
結節性硬化症			1	0					1	0													2	0	2	4%
低酸素脳症					1	0					0	1											1	1	2	4%
てんかん							1	0	1	0					0	1							2	1	3	6%
熱中症後脳症											1	0											1	0	1	2%
膠原病															0	1							0	1	1	2%
ダウン症			0	0																			0	0	0	0%
その他															1	0	1	0					2	0	2	4%
																							0	0	0	0%
計	0	0	2	2	3	4	1	2	3	1	2	4	3	4	4	3	5	1	1	4	1	0	25	25	50	

◆ 言語・嚥下障害等の状況

	コミュニケーション障害			摂食嚥下障害			知的障害・認知障害
	障害無	障害あり	意識障害	障害無	障害有	有のうちトロミ使用	
男	6	19	0	13	12	9	15
女	4	21	1	10	15	8	20
計	10	40	1	23	27	17	35

◆ 医的ケアの状況

	経管栄養者	吸引実施者
男	3	3
女	7	4
計	10	7

◆ 日常生活動作状況

	食事	体位交換	起座位	立ち上り	移動	排尿	排便	更衣	入浴	洗面
自立	4	19	13	6	1	5	4	2	1	5
一部介助	18	3	14	9	23	3	2	8	5	8
全面介助	28	28	23	35	26	42	44	40	44	37

◆ 移動手段の状況

歩行	介助歩行	歩行車	車椅子	その他
0	3	0	47	0

◆ 車椅子使用の状況

車椅子移乗		車椅子駆動		使用不能
自立	介助	自立	介助	
4	43	3	44	0

【 支援の実績】

◆ 事業・行事等の実施状況

4	創立記念日 観桜会・カラオケ大会	利用者・職員懇談会	外出支援	散髪 誕生会
5	端午の節句 ゲーム大会 県スポーツ大会			誕生会
6			外出支援	散髪 誕生会
7	七夕祭		散歩会 外出支援	散髪 誕生会
8	納涼祭		外出支援	誕生会
9		利用者・職員懇談会	外出支援	散髪 誕生会
10	運動会 利用者旅行 にっこり祭り		外出支援	散髪 誕生会
11	利用者旅行 心身協レクリエーション 小美玉市文化祭 小美玉市レク教室		外出支援	散髪 誕生会
12	ナイスハートフェスティバル クリスマス会		外出支援	散髪 誕生会
1	新年会	利用者・職員懇談会	外出支援	散髪 誕生会
2	節分祭 ゲーム大会		外出支援	散髪 誕生会
3	雛祭り		外出支援	散髪 誕生会
その他	水質調査（5月・11月）			

◆ 余暇活動の実施状況　　＜入所者＞

名　　称	参加人員　（内）実人員			開催状況	実施回数	実施内容
	男	女	計			
レクリェーション	514 （ 22 ）	302 （ 22 ）	816 （ 44 ）	月9.5回	114	オセロ、ストラックアウト、テーブルテニス、ボール・風船遊び、散歩等
作品制作	154 （ 15 ）	73 （ 8 ）	227 （ 23 ）	月3.58回	43	グループ及び個人での作品制作
カラオケ	286 （ 19 ）	232 （ 22 ）	518 （ 41 ）	月3.5回	42	カラオケ
リラクゼーションクラブ	89 （ 10 ）	190 （ 19 ）	279 （ 29 ）	月3.58回	43	スヌーズレン
	（　　）	（　　）	0 （ 0 ）			

◆ 余暇活動（料理クラブ）の実施状況

月	参加人員	実　施　内　容	備　　考
4	0	年間計画作成	
5	14	ベビーカステラ （軟）たまご蒸しパン	
6	10	おからナゲット （軟）おから豆腐	
7	10	フルーチェ（3種）	
8	0	無	コロナ発生の為中止
9	41	かき氷	
10	13	アイスクレープ （軟）蒸しパンアイス添え	
11	5	芋もち	
12	11	ホットケーキ （軟）蒸しケーキ	
1	12	わらび餅	
2	12	チョコレートフォンデュ （軟）ビスケットケーキ	
3	9	プリンアラモード	
計	137		

◆ 外出支援の実施状況（メリーホーム）

月	延べ人員	実　施　内　容
4	13	石岡周辺ドライブ(花見)
5	2	小さな森珈琲
6	2	ウェルサイト石岡
7	1	セブンイレブン運動公園前
8	0	コロナ発症にて中止
9	2	ウェルサイト石岡
10	12	ドライブ（茨城空港）
11	3	コメダ珈琲
12	0	インフルエンザ発症にて中止
1	2	ウェルサイト石岡
2	4	スターバックスコーヒー
3	0	コロナ発症にて中止
計	41	

◆ テイクアウトの実施状況（メリーホーム・こだま）

月	延べ人員	実　施　内　容
4	14	ケンタッキー石岡店
5	14	魚べい石岡店
6	15	ガスト石岡店
7	8	吉野家石岡店
8	15	とんかつ漫遊亭
9	14	不二家
10	12	ケンタッキー石岡店
11	12	魚べい石岡店
12	9	バーミヤン石岡店
1	12	やよい軒石岡店
2	15	ガスト石岡店
3	18	魚べい石岡店
計	158	

◆ 散髪の実施状況　（施設内）

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	備　　考
男	13	9	9	13	0	14	12	10	6	12	12	10	120	
女	11	8	11	6	0	11	13	7	6	11	7	5	96	
計	24	17	20	19	0	25	25	17	12	23	19	15	216	

◆ 入浴実施状況

◇ 入所利用者（男性入浴日：月・木曜日（特浴）、火・金曜（一般）　女性入浴日：月・木（一般）、火・金曜日（特浴）
（7月～9月の水曜日は男女隔週で入浴）

月	実施日数	対象人員	延人員（清拭者含む）	一人当たり月平均入浴回数	一人一週当り平均入浴回数	実施日1日当りの入浴人員	清拭延人員	備考
4	18	52	443	8.5	2.0	24.6	9	
5	18	52	462	8.9	2.1	25.7	3	
6	16	52	408	7.8	1.8	25.5	17	
7	19	52	468	9.0	2.1	24.6	14	
8	17	52	413	7.9	1.9	24.3	58	
9	17	52	434	8.3	1.9	25.5	6	
10	18	52	465	8.9	2.1	25.8	5	
11	17	51	420	8.2	1.9	24.7	11	
12	10	51	427	8.4	2.0	42.7	189	
1	18	50	450	9.0	2.1	25.0	5	
2	14	50	388	7.8	1.8	27.7	48	
3	13	50	419	8.4	2.0	32.2	126	
計	195	616	5197	8.4	2.0	26.7	491	

※計算式　①　一人当たり月平均入浴回数　：入浴延人員/対象人員
②　一人一週当り平均入浴回数　：一人当たり月平均入浴回数×7日/30日
③　実施日一日当り入浴人員　：入浴延人員/入浴実施日数

◆ リハビリテーション実施状況

◇ 理学療法士・言語聴覚士・作業療法士による訓練等（入所利用者・短期入所利用者・在宅者）

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
理学療法士	回数	26	27	25	26	21	25	26	26	23	25	25	26	301
	人員	138	141	135	125	95	112	136	155	85	133	126	112	1493
言語聴覚士	回数	0	0	0	18	2	18	20	19	15	20	20	16	148
	人員	0	0	0	82	6	73	78	82	46	92	106	92	657
作業療法士	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

◇ 実施状況　＜理学療法＞　（入所利用者・短期入所利用者等を含む）

月	実施回数	PTによる	実績人員	参加者人員	PTによる	1回当り参加人員	備考（訓練内容等）
4	26	26	51	92	138	4.4	座位保持訓練 起立訓練 立位保持訓練 関節可動域訓練 歩行訓練 床上動作訓練 車椅子移乗訓練 車椅子駆動訓練 補装具等装着訓練 筋力維持増強訓練
5	23	27	51	74	141	4.3	
6	23	25	51	61	135	4.1	
7	25	26	51	58	125	3.6	
8	13	21	52	35	95	3.8	
9	20	25	51	57	112	3.8	
10	18	26	51	54	136	4.3	
11	13	26	50	45	155	5.1	
12	9	23	49	31	85	3.6	
1	12	25	50	48	133	4.9	
2	12	25	49	46	126	4.6	
3	9	26	49	40	112	4.3	
計	203	301	605	641	1493	50.9	

◇ 実施状況　＜言語リハビリテーション＞　（入所利用者・短期等を含む）

月	実施回数	STによる	実績人員	参加者人員	STによる	1回当り参加人員	備考（訓練内容等）
4	0	0	0	0	0	0.0	言語訓練 口腔ケア 摂食・嚥下訓練
5	0	0	0	0	0	0.0	
6	0	0	0	0	0	0.0	
7	0	18	35	0	82	4.6	
8	0	2	6	0	6	3.0	
9	0	18	29	0	73	4.1	
10	0	20	28	0	78	3.9	
11	0	19	28	0	82	4.3	
12	0	15	20	0	46	3.1	
1	0	20	33	0	92	4.6	
2	0	20	34	0	106	5.3	
3	0	16	27	0	92	5.8	
計	0	148	240	0	657	38.5	

◇　実施状況　　＜作業療法＞　　（入所利用者・短期等を含む）

月	実施回数		実績人員	参加者人員		1回当り参加人員	備　考（訓練内容等）
		OTによる			OTによる		
4	28	0	1	28	0	1.0	
5	29	0	1	29	0	1.0	グループ活動
6	28	0	1	28	0	1.0	個別余暇活動
7	23	0	1	23	0	1.0	日常生活動作訓練
8	15	0	1	15	0	1.0	
9	26	0	1	26	0	1.0	
10	27	0	1	27	0	1.0	
11	26	0	1	26	0	1.0	
12	14	0	1	14	0	1.0	
1	21	0	1	21	0	1.0	
2	26	0	1	26	0	1.0	
3	15	0	1	15	0	1.0	
計	278	0	12	278	0	12.0	

◇ 面会・外泊の状況

氏　　名	面　会 回　数	外　泊 回　数	外　泊 日　数
	15	0	0
	6	0	0
	2	0	0
	0	1	7
	2	0	0
	0	0	0
	13	0	0
	0	16	44
	3	0	0
	11	0	0
	0	0	0
	12	1	2
	1	0	0
	2	0	0
	6	0	0
	1	0	0
	24	0	0
	11	0	0
	0	0	0
	2	1	8
	5	1	3
	10	1	3
	8	0	0
	4	0	0
	2	0	0
	9	0	0
	18	0	0
	1	0	0
	0	7	14

氏　　名	面　会 回　数	外　泊 回　数	外　泊 日　数
	1	0	0
	12	0	0
	0	0	0
	2	0	0
	11	0	0
	7	0	0
	3	0	0
	13	0	0
	10	0	0
	0	0	0
	0	0	0
	1	8	26
	1	0	0
	1	0	0
	2	0	0
	0	0	0
	3	0	0
	6	5	75
	3	0	0
	0	0	0
	15	0	0
	4	5	15
	3	0	0
合　計	266	46	215

◇ 帰省状況

	夏　期	冬　期	その他	合計(延)
人員	6 人	2 人	10 人	19 人
日数	26 日	9 日	180 日	215 日

◇ 家族の行事等への参加状況　（入所利用者・通所利用者・GH利用者）

	納涼祭	クリスマス会	野外散策	メリー会	その他の行事			奉仕活動			
								4 月	7 月	9 月	11 月
家族数	29	27	0	0	14			31	29	30	25
人　員	66	41	0	0	16			33	33	32	25

※他の行事:　ナイスハートフェステバル・日帰り旅行等

◇ 懇談会等の実施状況

利用者・職員全体懇談会　（入所利用者・通所利用者・GH利用者）

期　　日	内　　容
令和　6 年　4 月　10 日	当年度事業計画書の説明及び意見の聴取等
令和　6 年　9 月　5 日	意見の聴取
令和　7 年　1 月　15 日	次年度事業計画書についての意見聴取等

◆ 健康管理の状況（入所・通所・GH）

◇ 利用者医療の状況

区　　分	施設内医務室		入　　院			通　　院		
	実人員	延人員	実人員A	延人員B	平均 B/A	実人員A	延人員B	平均 B/A
内科系	9	411	5	70	20.1	4	9	1.5
外科系	11	4,615	2	41	19.3	26	61	1.8
整形外科系	0	0	0	0	35	2	2	4
耳鼻咽喉科系	2	686	0	0	0	4	23	1.5
眼科系	4	854	0	0	0	2	9	6.5
皮膚科系	6	2,144	0	0	0	0	0	1
泌尿器科系	2	28	1	20	9	2	16	1
婦人科系	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科系	0	0	0	0	0	1	10	9
神経内科系	0	0	0	0	0	1	3	3
歯科系	0	0	0	0	0	4	8	1.4
その他	35	4,689	1	17	0	1	13	0
合計	61	13,427	9	148	19.5	47	154	2

◇ 施設外医療の状況

医療機関名	延通院日数	延入院日数
山王台病院	97	24
山王台病院附属眼科・内科クリニック	9	8
山王台病院第1クリニッ（アネックス）	0	43
山王台病院第2クリニッ（アネックス）	23	73
土浦協同病院	0	0
県立医療大学	0	0
つくば病院	10	0
友部整形外科医院	2	0
冨田婦人科	0	0
水戸済生会病院	13	0
県立中央病院	0	0
小美玉医療センター	0	0
合計	154	148

◇ 健康診断実施状況（利用者）

期　日	人員	検　査　内　容	実施状況
令和6年4 月	52 名	身長、体重、視力、血圧、血液検査、尿検査 胸部レントゲン検査、心電図検査、その他	
令和6年		歯科健診、中止。	
令和6年10月	51名	尿検査、血圧測定	
令和6年2月	51 名	腸内細菌検査（検便）	
その他		血圧測定（毎月）、体重測定（毎月）	定期的に全員に実施すると共に、必要に応じ随時実施。

◇ 健康診断実施状況（職員）

期　日	人員	検　査　内　容	実施状況
令和6 年4 月	65 名	身長、体重、視力、聴力、腹囲、血圧、血液検査、尿検査 胸部レントゲン検査、心電図検査、 腰痛健診⇒腰部レントゲン検査（医師が必要と認めたもの対象）	腰痛健診のみ5月に施行。
令和6 年10月	30 名 65 名	血圧、尿検査、その他 腰痛検診⇒腰部レントゲン検査（医師が必要と認めたもの対象）	
令和7年2月	65 名	腸内細菌検査（検便）⇒調理業務従事職員（毎月実施）	

◇ 健康保険等

健康保険等の種類		男	女	計	備　　考
国民健康保険	医療福祉受給	16	18	34	
	老人医療受給	7	5	12	
	その他	0	0	0	
社会保険等	医療福祉受給	2	2	4	
	老人医療受給	0	0	0	
	その他	1	0	1	
生活保護（医療扶助）		1	0	1	
その他		0	0	0	
計		27 名	25 名	52 名	

◆ 給食実施状況　（入所利用者・通所利用者・GH利用者）

◇ 栄養量（一人当り平均）

	熱量 Kcal	蛋白質 g	Ca mg	脂肪 g	鉄 mg	VA μg	VB1 mg	VB2 mg	VC mg
基　準	1600	58.2	581	52.4	6	580	1.05	1.16	100
実　績	1547	58.1	590	45.8	8.7	596	0.94	0.85	87

◇ 摂取量(一人当り)

穀類	芋類	魚介類	獣鶏肉類	卵類	乳類	豆類	野菜類	海藻類	果実類	油脂類堅	砂糖及び甘味料	その他の食品
217	31	76	71	25	80	38	321	7	43	6	5	99

◇ 給食材料費（一人当たり）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
金額	1246	1124	1101	1361	1287	986	1290	1082	1527	1240	861	1147	1188

◇ 食事形態別提供状況　（3月31日現在）

主菜・副菜 / 主食	常菜	軟菜	ミキサー	経管栄養	合　計		
飯	22	3	0	0	25		
粥	0	12	1	0	13		
ミキサー粥	0	1	2	0	3		
経管栄養	0	0	0	9	9		
合　計	22	16	3	9	50		

◇ 提供食数

	朝　食	昼　食	夕　食	合　計
4月	1,790	2,224	1,815	5,829
5月	1,846	2,239	1,859	5,944
6月	1,743	2,131	1,763	5,637
7月	1,844	2,277	1,859	5,980
8月	1,824	2,223	1,836	5,883
9月	1,771	2,181	1,775	5,727
10月	1,838	2,249	1,848	5,935
11月	1,751	2,084	1,749	5,584
12月	1,776	2,066	1,772	5,614
1月	1,778	2,083	1,785	5,646
2月	1,616	1,927	1,621	5,164
3月	1,810	3,240	1,938	6,988
合　計	21,387	26,924	21,620	69,931

◇ バイキング食の実施状況

期　日	内　容
4月3日	おにぎりバイキング（5種）

◇ 栄養ケアマネジメントの状況(3月31日現在)

・療養食提供　　2名（糖尿病食）

・栄養リスク　　高リスク　2 名　　中リスク　18 名　　低リスク　30 名

◇ 選択食実施状況

月	日	献立内容				月	日	献立内容			
4	20	イカのねぎ味噌焼き	12	カレイのねぎ味噌焼き	34	9	30	牛丼	20	豚丼	38
	28	シシャモフライ	11	白身フライ	33	10	14	鯖の塩焼き	14	鯖の幽庵焼き	37
5	7	塩ラーメン	40	豚骨ラーメン	23		17	餃子	42	海鮮ステーキ	20
	17	焼きイカ	14	カレイの香草焼き	34		21	ほっけの塩焼き	15	鯵の味噌煮	33
	21	醤油ラーメン	34	担々麺	25		25	焼肉	40	鶏肉の唐揚げ	27
	25	ほっけの塩焼き	18	カレイの煮付け	29		29	焼きイカ	13	赤魚の蒸し魚	26
6	10	鯖のみりん焼き	18	鯖の煮付け	29	11	4	カレイの煮付け	43	シルバーの粒マスタード焼き	11
	21	焼きシシャモ	14	鱈の明太焼き	33		28	カレイの香草パン粉焼き	32	イカメンチ	27
	25	赤魚の煮付け	33	赤魚の粕漬け	14	12	2	ほっけの塩焼き	13	かじきの煮付け	23
7	2	肉しゅうまい	26	カニしゅうまい	40		10	イカのねぎ味噌焼き	13	白身魚のねぎ味噌焼き	33
	9	春巻き	21	餃子	45	1	18	サーモンフライ	20	ハムカツ	33
	11	赤魚の粕漬け	11	さんまの梅煮	33		27	ほっけの塩焼き	19	鯖の煮付け	23
	13	アジフライ	19	ポテトコロッケ	43	2	2	いわしの丸干し	7	いわしのみぞれ煮	35
	20	ほっけの塩焼き	15	シルバーの煮付け	32		11	カニしゅうまい	37	肉しゅうまい	22
	30	イカの辛味焼き	14	白身魚の辛味焼き	31		22	鯵の照り焼き	5	カニクリーム焼コロッケ	44
8	29	カニしゅうまい	38	餃子	31	3	8	焼きシシャモ	13	鱈の煮付け	29
9	3	カレイの塩こうじ焼き	34	焼きシシャモ	12		18	鮭の塩こうじ焼き	19	牛肉のオイスターソース炒め	24
	17	ほっけの塩焼き	12	鯖の煮付け	34						

◇　行事食

実施日 月	実施日 日	行事名	献　立　内　容	備考
4	1	創立記念日	赤飯、すまし汁、マグロの刺身、金平ごぼう、菜の花のお浸し、フルーツ	
	3	観桜会・メリー会	おにぎりバイキング、すまし汁、エビカツ、酢の物、カフェオレムース、ジュース	
5	3	端午の節句	ちらし寿司、すまし汁、カレイの香草焼き、ごぼうサラダ、抹茶羊羹	
	17	メリー会	天丼（キス・南瓜・舞茸・野菜）、すまし汁、ひじきの和え物、茶碗蒸し、フルーツあんみつ、ジュース	
	22	防災訓練の日	牛丼、味噌汁、えいようかん、乳酸菌飲料	
6	14	メリー会	稲荷寿司、すまし汁、焼肉、卵豆腐、きのこの和え物、いちごゼリー、ジュース	
7	7	七夕	お星さまカレー、スープ、茄子のサラダ、フルーツ	
	12	メリー会	ランチプレート（きのこピラフ・ハンバーグ・エビフライ・ポテトサラダ・ほうれん草のソテー）、コンソメスープ、プチロールケーキ、ジュース	
	24	土用の丑の日	うなぎ丼、すまし汁、中華風冷奴、アスパラの胡麻和え、漬物	
8	2	メリー会	助六寿司（稲荷寿司・巻き寿司）、すまし汁、唐揚げサラダ、ところてん、アイスクリーム、ジュース	
	24	メリー祭	たこ焼き、唐揚げ、焼きそば、フランクフルト、フライドポテト、胡瓜の漬物、大判焼き、アイスクリーム、かき氷、ドリンク	
9	6	メリー会	助六寿司（稲荷寿司・巻き寿司）、すまし汁、チキンチーズ大葉フライ、梅肉和え、プリン、ジュース	
	16	敬老の日	きのこごはん、すまし汁、天ぷら、茶碗蒸し、ようかん	
	20	秋分の日	ごはん、すまし汁、かじきの西京焼き、蓮根サラダ、きのこきんぴら、豆乳プリン	
10	2	運動会	幕の内弁当、けんちん汁、かき氷	
	11	メリー会	栗ご飯、きのこ汁、トンテキ、マグロの刺身、南瓜ようかん、ジュース	
11	8	メリー会	おにぎり（赤飯・梅ひじき・鮭・キノコご飯）、すまし汁、マグロカツ、ほうれん草のお浸し、プチモンブラン、ジュース	
12	8	クリスマス会	デニッシュパン、チキンライス、シチュー、エビフライ、フライドチキン、ローストビーフ、ポテトカップグラタン、刺身（マグロ・サーモン・甘エビ）、サーモンマリネサラダ、プチ	
	13	メリー会	赤飯、すまし汁、天ぷら（きす・さつま芋・舞茸）、茶碗蒸し、漬物、抹茶ゼリー、ジュース	
	21	冬至	ご飯、みそ汁、焼肉、冬至南瓜、卵豆腐	
	25	クリスマス	海老ピラフ、ビーフシチュー、グリーンサラダ、ショートケーキ	
	31	年越し	かき揚げ丼、すまし汁、湯葉の和え物、さつま芋しるこ	
1	1	元旦	ご飯、すまし汁、松風焼き、煮しめ、数の子、3色寒天	朝食（おせち料理）
	2		ご飯、酒粕汁、ネギトロ、なます、高野豆腐の煮物、栗きんとん、オレンジゼリー	朝食（おせち料理）
	10	メリー会	稲荷ずし、すまし汁、かき揚げ、オクラと湯葉のお浸し、プリン、ジュース	
	7	七草	七草粥、みそ汁、白身魚のスパイス焼き、茄子の煮びたし、ツナとセロリの和え物	
	13	成人の日	赤飯、澄まし汁、鶏天、金平ごぼう、フルーツ	
	15	小正月	小豆粥、味噌汁、肉豆腐、茶碗蒸し、もずく酢	
2	2	節分の日	太巻き寿司、すまし汁、鰯の丸干し、ポテトサラダ	
	7	メリー会	ご飯、すまし汁、鶏の唐揚げ、刺身（マグロ・いかそうめん）、柚子大根、プリン（黒蜜きなこがけ）、ジュース	
3	3	ひな祭り	ちらし寿司、豚汁、かき揚げ、菜の花のお浸し、ようかん	
	14	メリー会	ご飯、すまし汁、チキン南蛮、切干大根の酢の物、ムース、ジュース	

利用者預り金個人別内訳表（預金）

令和7年3月31日現在

氏　名	年度当初残高	受け入れ額	払い出し額	年度末残高	内普通預金	内定期預金	内定期積金	備考
	2,378,497	1,275,508	1,213,542	2,440,463	1,440,463	1,000,000	0	
	2,385,177	661,360	936,456	2,110,081	1,110,081	1,000,000	0	
	311,149	1,263,361	1,118,834	455,676	455,676	0	0	
	1,519,942	1,125,623	769,413	1,876,152	1,876,152	0	0	
	1,216,249	1,244,950	1,330,135	1,131,064	91,064	730,000	310,000	
	4,362,482	1,103,300	945,240	4,520,542	3,020,542	1,500,000	0	
	902,844	949,658	957,396	895,106	895,106	0	0	
	1,185,043	1,195,527	707,482	1,673,088	1,673,088	0	0	
	3,503,357	1,096,249	834,824	3,764,782	3,263,420	501,362	0	
	7,114,872	1,445,200	976,580	7,583,492	5,583,492	2,000,000	0	
	3,321,102	1,126,418	734,131	3,713,389	3,713,389	0	0	
	2,287,167	1,095,926	912,582	2,470,511	2,470,511	0	0	
	617,219	700,253	813,284	504,188	504,188	0	0	
	5,204,261	1,126,585	884,040	5,446,806	3,946,806	1,500,000	0	
	11,741,733	1,976,392	1,806,187	11,911,938	911,938	11,000,000	0	
合　計	48,051,094	17,386,310	14,940,126	50,497,278	30,955,916	19,231,362	310,000	

利用者預り金個人別内訳表　（現金預り金）

（令和7年3月31日現在）

氏　名	年度当初残高	年度間受入額	年度間払出額	年度末残高
	11,024	61,197	61,950	10,271
	12,191	0	11,850	341
	9,970	30,000	31,906	8,064
	7,529	35,000	31,101	11,428
	3,365	115,000	109,226	9,139
	10,822	103,562	107,676	6,708
	6,969	12,057	15,829	3,197
	7,945	21,253	24,180	5,018
	5,212	35,000	32,106	8,106
	5,906	25,000	28,350	2,556
	5,545	80,500	75,731	10,314
	2,950	13,000	6,791	9,159
	5,181	36,000	29,168	12,013
	4,291	40,000	32,750	11,541
	7,943	60,000	65,292	2,651
	4,918	30,000	26,407	8,511
	5,460	95,000	96,165	4,295
	7,832	16,000	23,705	127
	7,216	25,000	24,302	7,914
	32,047	16,000	37,282	10,765
	6,918	55,000	54,551	7,367
	8,545	323,839	328,392	3,992
	11,128	23,650	24,183	10,595
	4,381	21,000	18,489	6,892
	4,860	51,364	46,759	9,465
	15,263	10,000	15,433	9,830
合　計	215,411	1,334,422	1,359,574	190,259

◇ 消防防災関係実施状況

月	内　　容	参 加 者	消防署への届出の有無
4	避難訓練、指揮訓練、通報訓練、設備器具 （19:15　出火想定）	利用者、職員	有
5	避難訓練、指揮訓練、通報訓練 （22:00　出火想定）	利用者、職員	有
7	総合訓練 （19:15　出火想定）	利用者、職員 消防署	有
9	非常召集 （19:00　出火想定）	職員	無
10	避難訓練、指揮訓練、通報訓練、設備器具 （20:00　出火想定）	利用者、職員	有
11	総合訓練 （19:10　出火想定）	利用者、職員 消防署	有
12	避難訓練、指揮訓練、通報訓練 （AM2:00　出火想定）	利用者、職員	有
1	避難訓練、指揮訓練、通報訓練 （19:30　出火想定）	利用者、職員	無
2	避難訓練、指揮訓練、通報訓練 （21:00　出火想定）	利用者、職員	有
3	地震時の訓練、部分訓練 （18:30　地震想定）	利用者、職員	有

※6月、8月の防災訓練はコロナ感染拡大に付＜中止＞

◇ 委員会取り組み内容

支援検討研究委員会	【①ケアガイドライン重点項目について】サービスの向上 【②クラブ活動の見直し】利用者への支援の充実化 【③各手順書の作成】見直し、支援の標準化
虐待防止委員会	①身体拘束の確認②スピーチロックへの理解と浸透③虐待防止セルフチェックの実施と改善④ニヤリホットの必要性と共有化⑤虐待（不適切な支援）通報と改善計画⑥身体拘束に関するケース記録の見直し
安全対策委員会	①ヒヤリハット目標150件②リスクマップの見直し③リスクマネジメントを意識した取組
衛生管理委員会	①メンタルヘルスケア②熱中症③食中毒④健康診断⑤身体を鍛える⑥秋バテ⑦インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症・マイコプラズマ肺炎⑧脳腸相関⑨ストレスマネジメント⑩花粉症について⑪帯状疱疹⑫肥満
給食委員会	①利用者からの意見・要望②行事食内容の周知③他職種との共有事項確認④問題提起
感染症対策委員会	①新型コロナウイルス感染症5類移行後の対応②震災後の感染対策について③新型コロナウイルス発症時の対応④感染防止対策マニュアル見直し⑤食中毒について⑥インフルエンザ蔓延に伴う保健所指導⑦ガウンテクニック⑧ヒトメタニューモウイルスについて
生産性向上委員会	①取組課題の検討②気づきシートの活用方法③5S活動の実施と経過確認④提出された気付きシートの確認・評価⑤福祉・介護職員等処遇改善加算の職場環境等要件（R7移行）についての確認

◇ 会議等の開催状況

会 議 等 名 称	開催状況	会 議 等 名 称	開催状況
職員会議	12	防火管理委員会	11
代表者会議	12	環境整備委員会	4
給食会議	11	支援検討委員会	12
ワーカー会議	1	虐待防止委員会	12
ケース会議	69	安全対策委員会	12
栄養会議	10	感染症対策委員会	11
衛生管理委員会	12	合同委員会	1
生産性向上委員会	7		

◇　実習受入状況

年間実人員	2　名
年間延人員	60　名
受入学校	1　校

学校名	期　　間	日　数	人　員	延人員	備　　考
駿優国際医療ビジネス専門学校	6　月　25　日　～　8　月　8　日	30	2	60	

◇　創意・工夫・改善の内容

	創意・工夫・改善の内容	創意・工夫・改善結果
事務	生産性向上委員会立上げ	効率よく且つ効果的に業務が推進できるよう改善できるシステム作りをした。それに伴い、処遇改善費を取得できるようにしている。
	感染症対策	インフルエンザ、新型コロナ感染症マニュアルを感染症対策マニュアルとしてまとめた。しかし感染症が蔓延してしまった。
医務	服薬準備方法の改善	食札と服薬が一緒のセット方法では配布時のミスから、誤薬に繋がる事が多い為、食札と服薬を完全に別にした。また朝、昼、夕と色別にすることでわかりやすくなり、誤薬する事がなくなった。
支援員	棟業務の見直し	A棟午前中の巡回を奥の18号室からでなく手前の1号室からの巡回に変更した。変更した理由として手前にいる利用者は自分でコールを押せる利用者が少なく、急変が起きた際に手前から巡回していた方が発見が早くなる。
	朝礼時に挙げられた情報共有の工夫・改善	朝礼時に挙げられた情報が、朝礼に参加していない人への伝達ができていなかった。情報共有の為、明け者がワーカー室に設けたボードに情報を記載し、朝礼で挙げられた情報を、参加していない職員が共有できるようになった。ボードには簡易的な表現で記載し、細かい情報は聞いた職員に確認したりと、伝え手と聞き手のコミュニケーションも増えた。
	車椅子誘導の見直し	車椅子2台誘導は安全性に欠ける為、車椅子の誘導介助は1台に見直し、職員に周知徹底した。誘導介助における安全性も高まり、適切なケアにつながった。
	ミドルリーダーへ業務分担	副主任が担っていた業務（当日の簡易シフト表作成、月のホワイトボードの担当調整）を、ミドルリーダーに引き継いだ。ミドルリーダーが担い、棟の職員のバランスや人数調整を理解することにつながり、無理なく業務遂行することができるか考える機会、意識が高まった。また副主任が行っていた業務を減らしたことで、職員育成やチーム運営に時間をつくることが出来た。
こだま	コロナ発生時の対応及び拡大防止	初めてこだま内でコロナ感染症が発生してしまい、感染拡大が懸念された。ゾーニング当含め、感染対策を初めて実戦し、初動の際に、うまく行かない部分があったが、その後見直しを行い、利用者・職員ともに感染拡大を最小限に抑える事ができ、感染者への対応も各部署協力し合い、安全に実施することができた。
	感染対策の強化	初めてコロナ感染症の発生やインフルエンザの増加といった社会情勢を受け、感染対策を強化した。具体的には、消毒液の置き場所を増やし、マスクやグローブ等の備品を取りやすい位置に設置した。利用者・職員ともにこれまで以上に、意識して行動することができるようになった。
給食	厨房内の衛生	休憩前のシンク周りは当日の早番が確認し実行出来た。開けたままの食器棚の扉については、作業中は難しく休憩前・業務終了時の遅番が確認するが、徹底はされなかった。害虫防止や衛生について再度心構えが必要。
ひかり	5S活動実行による物品置き場の明確化	活動で必要とするたびに必要物品を作成及び保管してきたが、使用頻度の少ない物品、現在の利用者・職員の状況で必要なものか否かを見極め、整理整頓した。表面に見出しを付け明確化した。
	利用者毎の水分量・排泄時間の見直し	日ごとの排泄状況の確認を行い、個々の利用者に合った排泄時間帯で対応。漏れが減少した。また午前の水分摂取が出来ない利用者（来所時間が遅い等）に対し、食前になってしまうが水分提供する形をとった。尿量及び尿色の改善が見られた。

◆短期入所事業実績

◇契約状況

	男	女	合計
障害者	13	14	27
障害児	3	1	4
計	16	15	31

◇延べ利用人員

短期入所（延利用者）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害者	男	83	87	86	92	95	85	79	80	65	84	74	89	999
	女	106	103	69	78	72	87	119	125	114	101	86	108	1,168
	計	189	190	155	170	167	172	198	205	179	185	160	197	2,167
障害児	男	0	0	2	2	8	0	2	2	0	3	0	0	19
	女	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	4
	計	0	0	2	2	10	0	2	2	0	3	0	2	23
合　　計		189	190	157	172	177	172	200	207	179	188	160	199	2,190
稼働率		63.0%	61.3%	52.3%	55.5%	57.1%	57.3%	64.5%	69.0%	57.7%	60.6%	57.1%	64.2%	60.0%

◇実利用人員

短期入所（実利用者）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害者	男	7	8	7	10	8	6	7	6	5	6	6	6	13
	女	7	9	6	6	4	8	9	10	7	5	4	7	14
	計	14	17	13	16	12	14	16	16	12	11	10	13	27
障害児	男	0	0	1	1	1	0	1	1	0	1	0	0	3
	女	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1
	計	0	0	1	1	2	0	1	1	0	1	0	1	4
合　　計		14	17	14	17	14	14	17	17	12	12	10	14	31

◆日中一時支援事業実績

◇契約状況

契約市町村	契約利用者
	8

◇延べ利用人員

日中一時支援（延利用者）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害者	男	0	0	1	4	3	5	0	0	0	0	0	0	13
	女	2	2	1	7	2	2	3	3	2	0	3	4	31
	計	2	2	2	11	5	7	3	3	2	0	3	4	44
障害児	男	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	3
	女	1	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	5
	計	1	0	0	4	1	0	1	0	0	1	0	0	8
合　　計		3	2	2	15	6	7	4	3	2	1	3	4	52
稼働率		2.0%	1.3%	1.3%	9.7%	3.9%	4.7%	2.6%	2.0%	1.3%	0.6%	2.1%	2.6%	2.8%

◇実利用人員

日中一時支援（実利用者）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害者	男	0	0	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	2
	女	2	1	1	2	1	1	2	1	1	0	1	2	4
	計	2	1	2	4	2	2	2	1	1	0	1	2	6
障害児	男	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1
	女	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	計	1	0	0	2	1	0	1	0	0	1	0	0	2
合　　計		3	1	2	6	3	2	3	1	1	1	1	2	8

◇個人別利用実績（障害者）　2024 年度　＊RS：日中一時支援事業　＊SS：短期入所事業　※市町村別（50音順）になっているので、新規の場合行を挿入す

氏　名	市町村名	性別		4月				5月				6月				7月				8月				9月				10月				11月				12月				1月				2月				3月				計			
				RP		SS		RP		SS		RP		SS		RP		SS		RP		SS		RP		SS		RP		SS		RP		SS		RP		SS		RP		SS		RP		SS		RP		SS		RP		SS	
				男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	石岡市	○				2				2								2												2				4																2				14	
	石岡市		○				2								3												3				2																								10
	石岡市		○		1								1				4				2				2				2				3		5		2								3				2				22		5
	石岡市	○				3				3				3				3				3				3				3										3										3				27	
	石岡市		○		1				2		3						3														3							3															6		9
	石岡市		○				3				3				2				6				4				3				3				3				4											3						34
	小美玉市		○								3								3								3								3								3								3						18
	小美玉市		○				30				31				30				31				31				30				31				30				31				31				20				31						357
	小美玉市		○																																2																	2		2	
	小美玉市		○				30				31				30				31				31				30				31				30				31				31				28				31						365
	小美玉市	○				26				28				25				27				26				26				27				25				21				27				18				25				301	
	小美玉市	○										1				3				3				5																														12			
	小美玉市	○														1		2												2																2						1		6	
	小美玉市		○				12				13				2																29				30				31				31				28				31				207
	小美玉市	○																3				3																																6		
	小美玉市		○																				6				12				12				12				8																50
	かすみがうら市		○																4																																				4
	かすみがうら市	○								3								4				3												4				1				3												18		
	笠間市		○								2								3								3		1						8				6				5				10				6		1		43
	笠間市	○								2				2												2				2				2								2				2				2				16	
	土浦市	○				27				31				26				31				28				30				28				30				27				27				24				27				336	
	行方市	○				7																13				9																												29	
	行方市		○				2				3				2												3				3				2																		3				18
	行方市	○				3				3								3																																				9		
	鉾田市	○												11				2																				3								2								18		
	鹿嶋市		○				27				14																				5																								46
	美浦村	○												4								5																																9		
	龍ケ崎市	○				15				15				15				15				14				15				15				15				13				22				26				30				210		
小　計		14	14	0	2	83	106	0	2	87	103	1	1	86	69	4	7	92	78	3	2	95	72	5	2	85	87	0	3	79	119	0	3	80	125	0	2	65	114	0	0	84	101	0	3	74	86	0	4	89	108	13	31	985	1168
合　　計		28		2		189		2		190		2		155		11		170		5		167		7		172		3		198		3		205		2		179		0		185		3		160		4		197		44		2,153	

◇個人別利用実績（障害児）　2024 年度　＊RS：日中一時支援事業　＊SS：短期入所事業　※市町村別（50音順）になっているので、新規の場合行を挿入する。

氏名	市町村名	性別		4月				5月				6月				7月				8月				9月				10月				11月				12月				1月				2月				3月				計			
				RP		SS		RP		SS		RP		SS		RP		SS		RP		SS		RP		SS		RP		SS		RP		SS		RP		SS		RP		SS		RP		SS		RP		SS		RP		SS	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	かすみがうら市	○																				3																																3		
	かすみがうら市	○																				3																																3		
	かすみがうら市	○												2		1		2		1		2								2				2						1		3										3		13	
	かすみがうら市		○		1												3						2						1																							2		5		4
小　計		3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	3	2	0	1	0	8	2	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	5	13	4
合　　計		4		1		0		0		0		0		2		4		2		1		10		0		0		1		2		0		2		0		0		1		3		0		0		0		2		8		17	

令和6年度　生活介護事業所ひかり実績報告書

【利用者の状況】
≪通所利用者≫

◆ 利用状況
1) 前年度からの継続利用者　32 名
2) 利用中止者　4 名
3) 新規利用者　1 名
4) 月別状況

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
月初日既在所者数		32	31	31	30	30	30	30	29	29	28	28	28	356
利用中止者		1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	4
新規利用者		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
月末利用者	男	17	17	16	16	16	16	15	15	15	15	15	15	188
	女	15	14	15	14	14	14	15	14	14	13	13	13	168
	計	32	31	31	30	30	30	30	29	29	28	28	28	356
延利用人員		566	541	506	547	533	528	549	519	442	489	462	513	6,195
営業日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365

◆ 年齢別・性別構成

	20歳未満	20-25未満	25-30未満	30-35未満	35-40未満	40-45未満	45-50未満	50-55未満	55-60未満	60-65未満	65-70未満	70歳以上	計
男	0	1	2	2	3	2	0	1	2	0	4	0	17
女	0	0	1	3	3	3	0	1	3	2	0	0	16
計	0	1	3	5	6	5	0	2	5	2	4	0	33

◎平均年齢等

	最小年齢	最高年齢	平均年齢	
男	22 歳　9 ケ月	70 歳　1 ケ月	43 歳　11 ケ月	44 歳　8ケ月
女	32 歳　4 ケ月	64 歳　7 ケ月	46 歳　3 ケ月	

◆ 障害等級別人員

	1級	2級	3級	その他	計
男	6	6	0	5	17
女	8	8	0	0	16
計	14	14	0	5	33

◆ 障害程度区分別人員

	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男	4	4	3	6	17
女	1	1	4	10	16
計	5	5	7	16	33

◆ 障害福祉サービス支給市町村

市町村	小美玉市	石岡市	かすみがうら市	鉾田市	笠間市	阿見町	土浦市	茨城町	行方市	潮来市	県外
利用者数	17	9	2	1	1	1	0	0	2	0	0

◆ 障害原因別人員

	脳性麻痺	多発性関節拘縮	頭部外傷	脳腫瘍	脳血管障害	筋ジストロフィー	小脳変性症	知的障害	その他	計
男	7	0	0	0	2	1	0	3	4	17
女	9	1	0	1	1	0	1	0	3	16
計	16	1	0	1	3	1	1	3	7	33

◆ 言語・嚥下障害等の状況

	コミュニケーション障害			摂食嚥下障害			知的障害・認知障害
	障害無	障害あり	意識障害	障害無	障害有	有のうちトロミ使用	
男	10	7	4	13	1	0	12
女	6	10	6	10	5	2	15
計	16	17	10	23	6	2	27

◆ 医療的ケアの状況

	経管栄養者	吸引実施者
男	0	0
女	1	1
計	1	1

◆ 日常生活動作状況

	食事	体位交換	起座位	立ち上り	移動	排尿	排便	更衣	入浴	洗面
自　　立	14	19	16	9	8	5	5	7	2	13
一部介助	8	5	8	10	13	10	6	8	11	2
全面介助	11	9	9	14	13	18	22	18	20	18

◆ 移動手段の状況

歩行	介助歩行	歩行車	車椅子	その他
7	1	0	25	0

◆ 車椅子使用の状況

車椅子移乗		車椅子駆動		使用不能
自立	介助	自立	介助	
5	19	14	13	0

◆ 生活介護利用者延べ人員

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分6	271	243	240	269	261	263	254	239	210	209	204	225	2,888
区分5	130	134	113	112	104	107	133	129	111	132	117	130	1,452
区分4	79	78	72	77	86	77	75	69	58	71	67	74	883
区分3	86	86	81	89	82	81	87	82	63	77	74	84	972
合計	566	541	506	547	533	528	549	519	442	489	462	513	6,195

【 支援の実績】

◆ 事業・行事等の実施状況

4	創立記念日 観桜会・カラオケ大会	利用者・職員懇談会		散髪 誕生会
5	端午の節句 ゲーム大会 県スポーツ大会		外出支援	散髪 誕生会
6			外出支援	散髪 誕生会
7	七夕祭		外出支援	散髪 誕生会
8	納涼祭			散髪 誕生会
9		利用者・職員懇談会	外出支援	散髪 誕生会
10	運動会 にっこり祭り 利用者旅行		外出支援	散髪 誕生会
11	利用者日帰り旅行 心身協レクリエーション 小美玉市文化祭 小美玉市レク教室			散髪 誕生会
12	ナイスハートフェスティバル クリスマス会			散髪 誕生会
1	新年会	利用者・職員懇談会		散髪 誕生会
2	節分祭 ゲーム大会			散髪 誕生会
3	雛祭り			散髪 誕生会
その他	水質調査（5月・11月）			

◆消防防災関係実施状況

月	内　　容	参加所	消防署への届け出の有無
6	総合防災訓練（13：10　火災想定）	利用者、職員、 消防署	有
10	避難訓練（14:46　震度6レベル地震想定）	利用者、職員	有
11	総合防災訓練(13：10　火災想定)	利用者、職員職員 消防署	有
3	地震訓練（18：50　火災想定）	職員	有

＊6月、11月の総合防災訓練は、たまりメリーホームと合同で実施

◆ 余暇活動の実施状況　　＜通所利用者＞

名　　称	参加人員　（内）実人員			開催状況	実施回数	備　　考
	男	女	計			
アロマケア・散歩・日光浴	167 （ ## ）	184 （ 132 ）	351 （ 236 ）	月8.8回	105	
制作活動	264 （ 84 ）	474 （ 148 ）	738 （ 232 ）	月4.2回	50	ちぎり絵・型押し・貼り絵・壁面制作 折り紙
レクリェーション 国語クラブ	72 （ 51 ）	112 （ 74 ）	184 （ 125 ）	月2.7回	32	風船・もぐらたたき・ペットボトルボーリング 紙芝居・書道・ボッチャ・シャボン玉
カラオケ・音楽活動・DVD鑑賞	670 （224 ）	846 （ 295 ）	1,516 （ 519 ）	月8.4回	101	DVD鑑賞・合唱・合奏
生産活動	910 （ 72 ）	393 （ 36 ）	1,303 （ 108 ）	月16.2回	195	フルーツキャップ
グループ活動	469 （109 ）	1,030 （ 169 ）	1,499 （ 278 ）	月10.3回	124	入れ替え遊び・型合わせ 塗り絵・個人の興味に合わせた活動

◆ 余暇活動（料理クラブ）の実施状況

月	参加人員	実 施 内 容	備　　考
4	18名	バナナアイスクレープ	
5	20名	パンケーキ	
6	20名	コロコロミニホットドック	
7	24名	いも餅	
8	22名	生チョコタルト	
9	17名	フレンチトースト	
10	20名	お麩ラスク	
11	19名	芋パフェ	
12	0名		
1	17名	チーズのジャガイモ餅	
2	18名	湯豆腐パーティ	
3	19名	ティラミス	
計	214名		

◆ リハビリテーション実施状況

◇ 理学療法士・言語聴覚士・作業療法士による訓練等

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
理学療法士	回数	9	7	11	10	11	15	14	14	9	13	18	11	142
	人員	32	33	37	39	33	46	44	43	34	37	47	36	461
言語聴覚士	回数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	6	3	1	11
	人員	0	0	0	0	0	0	0	2	0	11	3	12	28
作業療法士	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

◇ 実施状況

月	実施回数		対象者	参加者人員		1回当り参加人員	備 考（訓練内容等）
		PTによる			PTによる		
4	28	9	34	315	32	9.38	
5	29	7	33	316	33	9.69	座位保持訓練
6	27	11	34	286	37	8.50	起立訓練
7	29	10	34	282	39	8.23	立位保持訓練
8	28	11	34	250	33	7.26	関節可動域訓練
9	25	15	33	213	46	6.48	歩行訓練
10	27	14	32	225	44	6.56	床上動作訓練
11	27	14	32	213	43	6.24	車椅子移乗訓練
12	21	9	32	110	34	4.80	車椅子駆動訓練
1	24	13	32	188	37	6.08	補装具等装着訓練
2	25	18	31	223	47	6.28	筋力維持増強訓練
3	27	11	31	253	36	7.61	
計	317	142	392	2,874	461	7.27	

◇ 実施状況 ＜言語リハビリテーション＞

月	実施回数		実績人員	参加者人員		1回当り参加人員	備 考（訓練内容等）
		STによる			STによる		
4	0	0	0	0	0	0.00	
5	0	0	0	0	0	0.00	
6	0	0	0	0	0	0.00	嚥下状態の確認・訓練
7	0	0	0	0	0	0.00	
8	0	0	0	0	0	0.00	
9	0	0	0	0	0	0.00	
10	0	0	0	0	0	0.00	
11	0	1	1	0	1	1.00	
12	0	0	0	0	0	0.00	
1	0	6	11	0	11	1.83	
2	0	3	3	0	3	1.00	
3	0	1	12	0	12	12.00	
計	0	11	27	0	27	2.45	

◇ 実施状況 ＜作業療法＞

月	実施回数		実績人員	参加者人員		1回当り参加人員	備 考（訓練内容等）
	職員による	OTによる		職員による	OTによる		
4	25	0	104	104	0	4.2	
5	27	0	107	107	0	4.0	グループ活動
6	26	0	100	100	0	3.8	個別余暇活動
7	29	0	114	114	0	3.9	日常生活動作訓練
8	26	0	111	111	0	4.3	
9	24	0	104	104	0	4.3	
10	27	0	145	145	0	5.4	
11	25	0	119	119	0	4.8	
12	23	0	99	99	0	4.3	
1	25	0	109	109	0	4.4	
2	16	0	107	107	0	6.7	
3	27	0	98	98	0	3.6	
計	300	0	1317	1317	0	4.4	

◆ 入浴実施状況

◇ 通所利用者

月	実施日数	対象人員	延人員	一人当たり月平均入浴回数	一人一週当り平均入浴回数	実施日1日当りの入浴人員	清 拭 延人員	備 考
4	18	26	204	7.8	1.8	11.3	1	
5	18	25	194	7.8	1.8	10.8		
6	16	26	173	6.7	1.6	10.8		
7	18	27	200	7.4	1.7	11.1		
8	18	27	181	6.7	1.6	10.1		
9	17	27	187	6.9	1.6	11.0		
10	18	27	201	7.4	1.7	11.2		
11	17	26	185	7.1	1.7	10.9		
12	21	26	134	5.2	1.2	6.4	12	
1	18	23	177	7.7	1.8	9.8		
2	16	22	160	7.3	1.7	10.0		
3	17	22	166	7.5	1.8	9.8	5	
計	212	304	2,162	7.1	1.7	10.2	18	

※計算式
① 一人当たり月平均入浴回数 ： 入浴延人員/対象人員
② 一人一週当り平均入浴回数 ： 一人当たり月平均入浴回数×７日/30日
③ 実施日一日当り入浴人員 ： 入浴延人員/入浴実施日数

令和6年度　共同生活援助事業所こだま実績報告書

【利用者の状況】

◆　利用状況

1）　前年度からの継続利用者　7 名

2）　今年度退所者　0 名　（　死亡退所　0　名　）

3）　新規利用者　0 名

4）　月別状況

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
月初日既在所者数		7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
退所者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新規利用者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末利用者	男	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
	女	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	35
	計	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
延べ利用者数		210	217	210	217	216	210	217	210	216	217	196	217	2553

◆　年齢別・性別構成

	40-45 未満	45-50 未満	50-55 未満	55-60 未満	60-65 未満	65-70 未満	70歳 以上	計
男	0	0	0	2	1	1	0	4
女	0	0	0	1	2	0	0	3
計	0	0	0	3	3	1	0	7

◆　平均年齢等

	最小年齢	最高年齢	平均年齢	
男	56 歳　5 ケ月	69 歳　9 ケ月	62 歳　9 ケ月	62 歳　2ケ月
女	59 歳　10 ケ月	64 歳　7 ケ月	61 歳　7 ケ月	

◆　障害等級別人員

	1級	2級	3級	その他	計
男	1	2	0	1	4
女		3	0	0	3
計	1	5	0	1	7

◆　障害程度区分別人員

	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男	0	1	2	1	0	4
女	0	1	0	1	1	3
計	0	2	2	2	1	7

◆　障害原因別人員

	脳性麻痺	脳血管障害	頚椎損傷	その他	計
男	1	1	1	1	4
女	2	1	0	0	3
計	3	2	1	1	7

◆　言語・嚥下障害等の状況

	コミュニケーション障害			摂食嚥下障害			知的障害・認知障害
	障害無	障害あり	意識障害	障害無	障害有	有のうちトロミ使用	
男	2	2	0	0	0	0	2
女	0	3	0	2	1	1	2
計	2	5	0	2	1	1	4

◆　日常生活動作状況

	食事	体位交換	起座位	立ち上り	移動	排尿	排便	更衣	入浴	洗面
自　立	2	6	5	4	3	4	4	4	2	4
一部介助	5	1	1	1	3	3	3	2	4	2
全面介助	0	0	1	2	1	0	0	1	1	1

◆　移動手段の状況

歩行	介助歩行	歩行車	車椅子	その他
2	0	0	5	0

◆　車椅子使用の状況

車椅子移乗		車椅子駆動		使用不能
自立	介助	自立	介助	
3	2	4	1	0

【支援の状況】

◆　事業・行事等の実施状況

〇外出支援

月	日	行先・参加行事	参加者数
R6			
4	13	ウェルサイト石岡	2名
	27	ウェルサイト石岡	2名
5	8	つくばイオン（野外散策）	7名
	25	山王台病院耳鼻科	1名
	26	水戸信用金庫スタジアム（県スポ）　●	2名
6	8	三洋堂書店	1名
	21	共立病院（健康診断）　●	4名
8	17	山王台病院耳鼻科	1名
10	12	福祉にっこり祭り　●	3名
11	16	小美玉市スポーツレクリエーション教室　●	2名
	16	山王台病院耳鼻科	1名
11	21	ハワイアンズ（日帰り旅行）	2名
R7			
2	8	山王台病院耳鼻科	1名
3	5	土浦イオン（野外散策）	7名

●の行先・行事に関しては、他事業所と合同実施・参加

◆　面会・外出・外泊の状況

氏名	面会	外出	外泊	
	回数	（通院含む）	回数	日数
	6	9	0	
	32	13	1	2
	12	7	0	
	5	12	1	2
	14	6	0	
	3	3	0	
	4	28	0	

◆　消防防災関係実施状況

月	内　　容	参 加 者	消防署への届出の有無
4	避難訓練、設備器具 （18:00　出火想定）	利用者、職員	有
6	総合訓練 （17:00　出火想定）	利用者、職員 地元消防団、消防署	有
10	避難訓練、設備器具 （21:00　出火想定）	利用者、職員	有
11	総合訓練 （16:20　出火想定）	利用者、職員 地元消防団	有
2	避難訓練、設備器具 （14:46　地震想定）	利用者、職員	有

＊6月、11月の総合訓練は他の事業所と合同で実施

◆　会議の開催状況

名称	参加者	開催状況
生活に関する話し合い	利用者・職員	1回

令和6年度 相談支援事業実績報告書

社会福祉法人敬山会　相談支援事業所　たまりメリーホーム

1　特定及び障害児相談支援事業

	障害種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成	身体障害者	4	2	5	3	7	2	7	4	2	0	9	3	48
	知的障害者	9	1	4	1	3	2	3	3	5	3	4	2	40
	精神障害者	5	1	2	2	0	2	0	6	0	0	3	1	22
	発達障害者	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
	障害児	15	1	7	2	7	8	2	6	3	4	2	5	62
	難病	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	3
	月合計	33	5	18	8	17	14	12	20	11	8	19	12	177
モニタリング	身体障害者	8	8	6	17	12	11	6	9	12	16	9	16	130
	知的障害者	10	12	8	11	9	8	6	6	8	8	9	7	102
	精神障害者	8	4	9	9	7	5	3	7	4	5	5	1	67
	発達障害者	2	1	1	2	1	0	1	1	0	1	1	1	12
	障害児	14	13	15	7	10	15	7	5	2	8	4	5	105
	難病	1	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	7
	月合計	43	39	40	47	39	40	24	28	26	38	28	31	423
	総計	76	44	58	55	56	54	36	48	37	46	47	43	600

2　小美玉市委託相談支援事業

1　相談受付等の状況

(1)　相談件数及び相談方法

相談件数（延べ）	相談方法								備考
	来所	電話	訪問	見学同行	会議	関係機関	電子メール	その他	
460	46	168	56	14	18	126	30	2	

(2)　相談内容

相談内容（延べ）	件　数	備　　考
福祉サービスの利用等に関する支援	134	
不安の解消・情緒安定に関する支援	42	
健康・医療に関する支援	26	
家族関係・人間関係に関する支援	91	
障害や病状の理解に関する支援	16	
家計・経済に関する支援	18	
生活技能に関する支援	10	
社会参加・余暇活動に関する支援	7	
就労に関する支援	15	
権利擁護に関する支援	38	
保育・教育に関する支援	60	
その他	3	
合　　計	460	

◆　相談・事故・苦情等の状況（各事業共通）

◇　相談受付状況（相談支援事業による相談を除く）

年　月　日	相談の内容	相談方法				住　所	備　考
		来所	電話	メール	他		
06.05.08	短期入所利用について	○	○			石岡市	
06.05.13	短期入所利用について	○	○			小美玉市	
06.10.11	施設入所・短期入所利用について	○	○			小美玉市	
06.10.28	短期入所利用について	○	○			ひたちなか市	
計	＜相談件数　4　件　＞	4	4	0	0		

◇　事故発生状況

発生場所	発生状況	件数	発生原因
＜メリーホーム＞			
居室	転倒	3	利用者の不注意によるもの
	転倒	1	職員の不注意によるもの
	転倒	1	職員・利用者の不注意によるもの
	転落	3	利用者の不注意によるもの
	酸素付け忘れ	3	職員の不注意によるもの
	酸素外し	1	職員・利用者の不注意によるもの
	怪我	5	職員の不注意によるもの
	怪我	2	利用者の不注意によるもの
	怪我	5	職員・利用者の不注意によるもの
	服薬ミス	2	職員の不注意によるもの
	浣腸施行忘れ	1	職員の不注意によるもの
	物品破損	1	利用者の不注意によるもの
	その他	2	利用者の不注意によるもの
食堂	配膳間違い	2	職員の不注意によるもの
	服薬ミス	2	職員の不注意によるもの
	服薬ミス	2	職員・利用者の不注意によるもの
	その他	1	利用者の不注意によるもの
トイレ	転倒	2	利用者の不注意によるもの
	転落	1	職員の不注意によるもの
	胃ろう部抜去	1	職員・利用者の不注意によるもの
	怪我	3	職員の不注意によるもの
	怪我	1	利用者の不注意によるもの
洗面所	怪我	1	利用者の不注意によるもの
お風呂場	怪我	2	職員の不注意によるもの
	酸素外し	1	職員の不注意によるもの
廊下	転倒	1	職員の不注意によるもの
	物品破損	3	職員の不注意によるもの
厨房	異物混入	1	職員の不注意によるもの
	物品破損	2	職員の不注意によるもの
医務室	服薬紛失	2	職員の不注意によるもの
不明	怪我	2	利用者の不注意によるもの
	怪我	2	職員・利用者の不注意によるもの
	物品破損	1	利用者の不注意によるもの
＜ひかり＞			
ホール	転倒	1	職員の不注意によるもの
	服薬ミス	1	利用者の不注意によるもの
	服薬ミス	1	職員の不注意によるもの
	その他	1	利用者の不注意によるもの
トイレ	転倒	1	職員・利用者の不注意によるもの
	転落	1	職員・利用者の不注意によるもの
＜こだま＞			
居室	転倒	1	職員の不注意によるもの
	転落	1	利用者の不注意によるもの
71			

◇　苦情・意見等受付状況

年　月　日	申出者	苦情内容	解決	未解決	その他
06.04.10	利用者	コール対応について	○		
06.05.24	近隣住民	ごみ捨てについて	○		
06.06.08	利用者	他利用者の行動について	○		
06.06.19	利用者	PHSの使用方法について	○		
06.07.01	利用者	利用者との関係性について	○		
06.07.06	利用者	職員の態度について	○		
06.09.05	利用者	施設行事について	○		
06.09.05	利用者	コール対応について	○		
06.09.05	利用者	リフトの置き場所について	○		
06.09.05	利用者	トイレのコール対応について	○		
06.09.05	利用者	冷蔵庫の私物の食品について	○		
06.09.05	利用者	他利用者の行動について	○		
06.09.18	利用者	通院時の保険証について	○		
06.10.01	利用者	職員の態度について	○		
06.11.29	利用者	配茶について	○		
06.12.04	利用者	食事前の手指消毒について	○		
06.12.16	利用者	職員の態度について	○		
07.01.15	利用者	爪切りについて	○		
07.01.15	利用者	挨拶について	○		
07.01.16	利用者家族	薬の処方・処置について	○		
07.03.30	利用者家族	私物の記名の仕方について	○		
合　計　21　件					

◇　要望・相談等受付状況

年　月　日	申出者	意見・要望内容	解決	未解決	その他
06..4.10	ひかり利用者	サービスの内容について	○		ひかり
06.09.05	利用者	嗜好調査の結果を教えて欲しい	○		
06.09.05	ひかり利用者	職員配置について	○		ひかり
07.01.15	利用者	放送について	○		
合　　計		4 件			

◇ 地域における公益的取組み

活動内容	期日	概要等
学校交流事業 玉里小学校運動会参加 玉里東小学校交流会	学校からの依頼がない為中止	
緊急一時保護事業	保護期間	概要等
不明	なし	小美玉市社会福祉課生活保護担当　宮内氏より連絡あり。 １人暮らしで相続されたお金で生活していたが、３月ごろからお金が無くなり、ライフラインが止まってしまった。そのため生ごみを水に浸したものを食べている状態であった。地域包括が入っていたが、その際話が噛み合わず、診断は出てないが認知があるものと思われる。ADLは自立しており、行動面も問題はない。収入がない為、6/6に生活保護の申請をし、認められるだろうとのこと。今後このまま独居での生活はできないと思われるので、緊急一時で保護してもらい、その間に無料宿泊所の手配をし、介護保険につなげて行ければと考えている。 緊急一時保護で受け入れ可能であることを伝え、本人の所に行き、話をしてくるとのこと。了承が得られれば受け入れることとする。また入浴もしてないと思うので、来る前にどこかで入浴をしてきて欲しい。現在2名コロナ陽性者が出ており、抗原検査を実施してきて欲しいことを伝える。 小美玉市宮内氏より連絡があり、本人の拒否により保護は行わないこととなる。
	令和06年07月02日～令和06年07月03日	21時　小美玉市社会福祉課生活保護担当　宮内氏より連絡あり。 6月10日に相談した方が、転倒し左肘骨折で山王台病院に来ている。自宅はライフラインもない状態である為、戻るには心配である。山王台には入院できないとのことで、受け入れ先を探している。今晩だけ保護してくれないかとのことであったため、受け入れ可能とした。
	なし	小美玉市社会福祉課より、実家がある竹原で父と同居していたが、折り合いが悪く羽鳥にアパートを借り実家を出る。アパート生活になってから長男が不登校になり、母はあまり仕事に行く事が出来ず面倒を見ていた。アパートに引っ越してから家賃を支払っておず、R6.12/27に家賃滞納により強制退去となる。住む所が無くビジネスホテルで生活していた。空き部屋の関係で本日チェックアウトし、現在ホテルの予約も取れない状況。1/23にはビジネスホテルの予約が取れた為、それまでの間、保護して欲しいとのことであったが、長男が保護開始時に抗原検査実施し、陽性反応が出た為利用中止
地域行事参加事業		
小美玉市福祉にっこり祭	令和06年10月12日	職員9名、利用者17名参加　派遣職員1名
ナイスハートフェスティバル	令和06年12月07日	職員4名、利用者5名参加　派遣職員1名
その他		
地域清掃活動	令和06年07月14日	職員7名、家族数名参加し、施設周辺の清掃活動実施。
	令和06年09月08日	職員2名、家族数名参加し、施設周辺の清掃活動実施。
	令和06年11月03日	職員2名、家族数名参加し、施設周辺の清掃活動実施。

福祉車輌貸出事業	実施回数	実利用者数	延べ利用者数
	48回	9名	48名

◆　ボランティア・見学等の実施状況

団体名又は個人名	回数	人員	延人員	内　　容　　等
小美玉市よさこい	1	20	20	納涼祭アトラクション
玉里太鼓	1	10	20	納涼祭アトラクション
太平洋	1	1	1	クリスマス会アトラクション

◆　広報誌（おおぞら）発刊

発行日	内容
令和06年10月31日	○夏メリー祭　○ひかり便り　○新人職員紹介　○令和5年度事故報告まとめ　○令和5年度苦情・相談報告まとめ　○ボランティア募集のお知らせ　○お礼　○決算報告　○行事予定　○あとがき

◆運営管理関係

◇研修関係＜施設内研修＞

期日	研修名	研修内容	講師	対象者または参加者
4月20日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
5月18日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
6月22日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
7月20日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
8月17日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
8月17日	緊急時の対応について	急変時の発見から救急車要請迄の対応を学ぶと共に 心肺蘇生法とAEDの使用方法の確認をする	看護師・研修委員担担当者	全職員
9月21日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
10月19日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
11月5日	良いリーダーとは	①自分事として考える事の重要性 ②リーダーに求められるもの ③職場のいい所と直した方がいい点についてのグループワーク	（株）ヤマオコーポレーション 代表取締役	中堅職員以上
11月16日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
11月16日	感染症対策について	感染症が発生した場合の対応を理解する。（感染予防具の着用方法等）	看護師	全職員
12月5日	良いリーダーとは	①職場のいい所と直した方がいい点についてのグループワーク ②自分事として考える事の重要性とリーダーに求められるもの ③人を育てる時に気を付けるべき事	（株）ヤマオコーポレーション 代表取締役	中堅職員以上
12月21日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
1月18日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
1月～2月	救急法	正しい心肺蘇生法の手技を確認（心臓マッサージ・AED）	研修委員担当者	生活支援員
2月22日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
2月22日	権利擁護・虐待防止研修	権利擁護・虐待防止について	サービス管理責任者	全職員
3月22日	伝達研修	マニュアル読み合わせ		全職員
3月22日	R4年度委員会報告会	各委員会の今年度のまとめ		全職員

◇ 研修関係＜施設外研修＞

令和6年度

期　日	主　　催	研　　修　　名	研　　修　　内　　容	研修参加者名	人数
4月5日	株式会社エイデル研究所	E式合同考課者研修	・人事考課の正しい理解 ・人事考課　評価の基本 ・人事考課演習　評価実習 ・人事考課講義　面接の基本 ・人事考課演習　面接演習	生活支援員	1
5月10日	茨城県心身障害者福祉協会	基礎知識アップ研修	〈YouTube〉 ・福祉施設で社会人として（福祉のプロとして求められる人材） ・私たちが大切にしなくてはいけないこと（人権について） ・障害福祉の基礎知識 ・障害者の生活を支える仕組み ・先輩からのメッセージ ・幸せに働くために	生活支援員	2
6月6日	茨城県社会福祉協議会	リスクマネジメント研修A	講義・演習 「仕組みで管理すべき現場のリスク」 ・リスクマネジメントの必要性 ・安心・安全とリスクの関係 ・福祉現場におけるリスク体系 ・事故発生メカニズム ・危険予知トレーニング ・事故とヒヤリハット ・ヒューマンエラー発生のメカニズム ・事故後の対応 ・リスクマップでリスクを評価する	生活支援員	1
6月13日	茨城県社会福祉協議会	新任職員研修	講義・演習 「新任職員のための職場内コミュニケーション、メンタルヘルス」 「福祉職員としての視点・心構え・つながりづくり」	生活支援員	1
6月17日 6月24日	茨城県介護福祉士会	たん吸引等実施研修	・重度障害児・者等の地域生活等に関する講義 ・喀痰吸引等を必要とする重度障害児・者等の障害及び支援に関する講義 ・緊急時の対応及び危険防止に関する講義 ・試験 ・喀痰吸引等に関する演習	生活支援員	2
6月17日～ 6月18日	心身障害児総合医療 療育センター	摂食・嚥下（基礎・実習）講習会	「嚥下のしくみ・発達と障害児・者の嚥下」について 「食事介助の留意点」 「嚥下障害・誤嚥の病態と対応」 「食事指導-OTの立場から」① 「食事指導-OTの立場から」②	生活支援員	1
6月27日～ 6月28日	関東甲信越地区身体障害者 施設協議会	職員支援力アップ勉強会	「障害者虐待防止法及び障害者虐待防止の手引きを活用した施設内研修のあり方」 ～虐待チェックリストの活用法～ 事例①「通報した事例を通じて学んだこと」 事例②「カスタマーハアラスメント対応による職員保護」 ～職員の離職を防ぐために～ 「心身協が考える権利擁護」 ～障害者権利条約と総括所見を手掛かりに～	施設長 サビ管 生活相談員	3

6月27日～ 6月28日	茨城県社会福祉協議会	福祉職員キャリアパス生涯研修過程 （中堅職員編）Aコース	・中堅職員としてのキャリアデザインと自己管理 ・福祉サービスの基本理念・倫理の理解を深める ・中堅職員としてのフォロワーシップの醸成 ・チームケアと問題解決－遭遇要因分析 〈啓発科目の講義と演習〉 ・中堅職員に求められる役割や能力を理解する ・OJTによる後輩職員の指導に取り組む ・業務上の課題の発見と分析の方法を理解する ・個人間・チーム間の葛藤を解決し、連携を深める 〈行動指針の策定〉 〈キャリアデザインとアクションプランの策定	生活支援員	1
6月29日～ 6月30日	全国障害者総合福祉センター 戸山サンライズ	意志決定支援と虐待防止に関する研修会	【ZOOM〉 ・意思決定支援と虐待防止の理解を深める ・虐待と意思決定支援について ・意思決定支援の実践 ・権利擁護 ・虐待防止に向けて具体的な取組 ・虐待防止に向けた事例検討	生活支援員	1
7月16日	茨城県社会福祉協議会	記録の書き方研修	講義・演習 「ゼロから学ぶ対人援助職の『記録』」 ・対人援助と記録、記録の種類 ・なぜ記録を書くのか ・誰のために記録を書くのか ・何をどのように記録するのか ・記録を取り巻く状況（電子化・情報開示・訴訟等） ・記録を読む ・記録で支援の質を高める・記録の着眼点 ・良い記録/悪い記録 ・時短と効率化 ・演習（グループ討議）	生活支援員	1
7月25日	茨城県社会福祉協議会	クレーム対応力強化研修	講義・演習 ①クレームを感動に変える ・クレームに向かう基本姿勢 ②クレーム対応の実際 ・傾聴力・対話力・質問力トレーニング ③クレーム対応の際の話し方 ・言い換えチャレンジ～相手を不快にしない話し方 ④クレームを大きくしない「断る」スキル ⑤ハードクレーム対応の心がまえ ⑥安心してクレーム対応に臨める環境づくりとは	生活支援員	1
7月30日～ 7月31日	茨城県心身障害者福祉協会	茨城県サービス管理責任者等研修 （実践研修）	①モニタリングの方法 ②個別支援会議の運営方法 ③サービス提供職員への助言指導 ④実地教育としての事例検討会の進め方 ⑤サービス担当者会議と協議会の活用についてまとめ	サビ管	1
6月10日～ 7月31日	茨城県高次脳機能障害 支援センター	高次脳機能障害支援要請研修	【YouTube】 ・高次脳機能障害支援者養成研修とは ・高除脳機能障害とは ・高次脳機能障害の診断・評価 ・病院で行うリハビリテーション ・失語症おコミュニケーション支援 ・制度利用 ・相談支援 ・生活訓練 ・復職・就労移行支援 ・生活と支援の実際	生活支援員	1

7月21日～ 8月19日	日本てんかん協会	てんかん基礎講座	【オンライン】 ・てんかんとはどういう病気か ・てんかん発作の介助 ・てんかんの治療①② ・てんかんに合併する精神科的障害の治療と対応 ・てんかんと発達障害 ・てんかんと学校生活	看護師	1
7月25日	茨城県社会福祉協議会	クレーム対応強化研修	講義・演習 「クレームを感動に変える」 ①クレームに向かう基本姿勢 「寄せられるクレームの現状と発生原因」 「クレーム対応の実際」 「クレーム対応の際の話し方」 ①言い換えチャレンジ～相手を不快にしない話し方 「クレームを大きくしない「断る」スキル 「ハードクレーム対応の心構え」	看護師 生活支援員	2
8月1日	茨城県社会福祉協議会	「伝わる」でつながる広報誌講座	講義・演習 ・もっと知りたいレイアウト・もっと知りたい色の選び方 ・SNSホームページの活用・写真の構図、肖像権配慮の背面写真の活用 ・PCで簡単にできる技（写真配置）・安全なイラストの使い方 ・「伝わる」言葉の選び方・余白の活かし方・重複の削り方 ・キャラクターの活用・募金、寄付、会費に繋がる広報 ・広報誌ワンポイントアドバイス・グループワーク	サビ菅	1
8月22日	茨城県社会福祉協議会	事業継続計画（BCP）作成研修	講義・演習 「福祉事業所における事業継続計画で目指すもの」 「BCP策定のプロセス」 「具体的なBCPの策定項目」 「風水害と新型感染症対策」	生活相談員	1
8月23日	全国社会福祉法人 経営者協議会	主任/係長講座	【Zoom】 講義「7つの習慣」 ①主体的である（自己責任の習慣） ②終わりを思い描くことから始める（パーソナル・ビジョンの習慣） ③最優先事項を優先する（パーソナル・マネジメントの習慣） ④Win－Winを考える（相互利益の習慣） ⑤理解に徹しそして理解される（共感によるコミュニケーションの習慣） ⑥シナジーを創り出す（創造的協力の習慣） ⑦刃を研ぐ（毎日の自己再生の習慣）	サビ菅	1
8月24日～ 8月25日	茨城県高次脳機能障害 支援センター	高次脳機能障害者支援養成講座	・障害特性の理解・診断・評価体験 ・障害特性に応じた支援 ・生活訓練の実際 ・復職・就労移行支援	生活相談員	1
8月26日～ 8月27日	茨城県心身障害者福祉協会	強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	講義 ・強度行動障害の理解 （支援の基本的な考え方・強度行動障害の状態・行動障害が起きる理由・ 特性の理解） ・支援のアイデア（障害特性に基づいた支援） ・基本的な情報収集（行動を見る視点） ・特性の分析（特性の把握と適切な対応） ・チームプレイの基本 ・研修の意義（行動障害と虐待防止） ・実践報告（児童期及び成人期における支援の実際） ・研修の意義（家族の気持ち）	相談支援専門員	1

8月27日～ 8月31日	あいおいニッセイ同和損保	介護事故の再発防止策検討	事故事例から原因と対策を考える 誤解を招く説明をしない 本人・家族との情報共有 事故発生時は家族に知らせる 賠償金の支払いに関して 事例（立ち上がり転倒、2人介助による転落、トイレ便座からの転落等）	理学療法士	1
8月31日～ 9月2日	全国社会福祉協議会 （中央福祉学院）	スーパービジョン研修	・スーパービジョンは技術だけでなく組織体制である ・包括的スーパービジョン体制を稼働させる ・スーパービジョン体制の構成理論 ・スーパービジョン体制の様式・形態・課題 ・組織におけるスーパービジョン体制の稼働 ・スーパービジョンプログラミングの活用	生活支援員	1
9月4日	茨城県中央保健所	施設内感染症研修	行政説明「県内の感染症発生動向について」 講演「施設の感染予防について」 動画「感染性胃腸炎の感染拡大を防ごう」 行政説明「身近に潜む結核～発見と対策～」	看護師	1
9月6日	茨城県社会福祉協議会	チームリーダー研修	講義・演習 「職員から信頼されるリーダーになるためには」 ・リーダーに期待されることとは何か ・日常の振り返り ・自分自身の現状を確認する ・リーダー行動の基本 ・リーダーシップとは何か ・心理的安全性とチームの在り方 ・チームビルディング（組織構築）とは ・自分のリーダーとしての未来像を描く ・リーダーシップ発揮に向けて	理学療法士	1
9月11日～ 9月12日	茨城県心身障害者福祉協会	強度行動障害支援者養成研修（実践研修）	講義 ・支援を組み立てるための基本（強度行動障害の支援に必要な知識） ・アセスメントの方法（具体的・障害特性に基づき） ・手順書の作成（アセスメントに基づく支援手順書の作成） ・記録の分析と支援手順書の修正（記録の方法） ・組織的なアプローチ ・実践報告（チームによる支援の実際） ・関係機関との連携（医療機関等との連携）	相談支援専門員	1
9月12日	茨城県社会福祉協議会	メンタルヘルスケア研修	講義・グループワーク 「ラインケアを重視した職場づくり」 ・職場のメンタルヘルス・ハラスメントを考える・ラインケアの基本と実際 ・職場のコミュニケーション・部下のメンタルヘルスを支える話の聴き方・ まとめ・質問	生活支援員	1
9月24日～ 9月25日	全国社会福祉法人経営協議会	人事・労務管理講座	【Zoom】 講義 ①労務管理関連法令の内容と対応のポイント ②人事管理を支える制度の理解と構築方法	理学療法士	1
9月25日～ 9月26日	茨城県心身障害者福祉協会	茨城県サービス管理責任者等研修 （実践研修）	①モニタリングの方法 ②個別支援会議の運営方法 ③サービス提供職員への助言指導 ④実地教育としての事例検討会の進め方 ⑤サービス担当者会議と協議会の活用についてまとめ	生活支援員	1

9月26日～ 9月27日	全国身体障害者施設協議会	全国身体障害者施設協議会 研究大会	行政説明「障害福祉施策の動向について」 基調報告「新しい障害者支援施設の創造を通してケアコミュニティーを実現するために 令和6年能登半島地震に寄せて 記念講演「伝わる言葉～失敗から学ぶ～」 実践発表＜各会場＞ ①ケアの質向上への取組 ②特定技能外国人受け入れ ③防災取組 ④ボトムアップでの休日の新設 ⑤リスク軽減取組 研究発表 ①地域貢献について ②能登半島地震について	副施設長 生活相談員 看護師 生活支援員 調理員	6
9月28日	全国障害者総合福祉センター 戸山サンライズ	ICT支援者研修会	【Zoom】 「ICTを活用した障害者支援の実践」 「情報機器のアクセシビリティとコミュニケーション」	生活支援員	1
10月11日～ 12月10日	茨城県社会福祉協議会	個人情報保護研修	【録画配信】 「改正個人情報保護法の理解と対応」 ①個人情報保護法のこれまでの改正概要 ②個人情報保護法の基本的な仕組みを理解する ③直近の個人情報保護法改正の概要 ④改正公益通報者保護法の概要	理学療法士	1
10月17日	茨城県社会福祉協議会	クレーム対応力強化研修 （ハードクレーム編）	講義・演習 「ハードクレームに対する適切な対処法を習得する」 ①クレーム対応担当者としての心構え ②クレーム対応のスキルを高める ③クレームをハード化させないために ④ハードクレーム対応を習得する ⑤安心してクレーム対応に臨める環境づくりとは	理学療法士 生活支援員	1
10月24日	茨城県社会福祉協議会	福祉サービス苦情解決研修会	【Zoom】 「苦情解決の基本姿勢と組織的対応 ～ソーシャルワークとコミュニケーションの視点から～」	理学療法士 生活支援員	2
10月31日	茨城県社会福祉協議会	リスクマネジメント研修B	講義・演習 「仕組みで管理すべき現場のリスク」 ・リスクマネジメントの必要性 ・安心・安全とリスクの関係 ・福祉現場におけるリスク体系 ・事故発生メカニズム ・危険予知トレーニング ・リスクマネジメントの構造（氷山モデル） ・リスクマネジメントの効果的な進め方 ・ヒヤリハット報告の実効性を高めるために ・リーダー職員が行う事 ・リスク評価の心理特性 ・ヒューマンエラー対策をどう進めるか ・利用開始時の留意点 ・リスクに関する共通認識づくり ・BCPを策定するためのコツ ・BCPの実効性を高めるためのポイント	生活支援員	1

11月3日	学校法人西田学園 アルファ医療福祉専門学校	精神保健福祉士通信科 短期養成コース	精神保健福祉士スクーリング演習	生活支援員	1
11月7日	茨城県社会福祉協議会	ファシリテーション研修	講義・演習 「ファシリテーションの基本」 ・ファシリテーションとは何か ・会議を進行する4つのポイント ・会議の場をデザインする技術 ・会議を活性化する技術 ・会議を構造化する技術 ・会議の行動につなげる技術	生活支援員	1
11月10日	茨城県栄養士会	給食施設調理従事者研修	講演「リハビリテーション専門職が必要としている嚥下調整食とは」 講演「摂食嚥下食の紹介と試食会」	調理員	1
11月14日	茨城県社会福祉協議会	福祉現場における 事業継続計画(BCP)運用研修	講演・演習 「BCPの基本的理解」 ・BCPと防災計画の違い ・策定したBCPの課題を抽出する方法 「模擬訓練」 ・災害を想定した模擬訓練 ・緊急時に集まってきた情報に関する指示・決定演習 「訓練から考える自施設の課題」 ・模擬演習で見出した課題 ・課題解決に向けたBCP整理のポイント 「自施設のBCPの改善」 ・改善課題をどのようにクリアするか ・自施設で行うBCPのPDCAサイクル	サビ管	1
11月14日	茨城県心身障害者福祉協会	県央ひきこもり支援フォーラム	体験発表 ・引きこもりだった子供を養育した母と祖母からの体験発表	相談支援専門員	1
11月18日～ 11月19日	全国身体障害者施設協議会	職員スキルアップ研修	講義①「総括所見を振り返る～障害者支援施設に求められている事」 講義②「身障協が考えるケアの基準～ケアガイドラインを活用して支援の質を上げる」 演習①「身障協ケアガイドラインで適切なケアを考える」 情報交換会 演習②「身障協ケアガイドラインで適切なケアを考える 全体発表会と意見交換会 講義③「身障協が目指す支援～サービスの質を担保し、向上させる	生活支援員	2
11月21日～ 11月22日	茨城県社会福祉協議会	労務管理とコンプライアンス研修	【録画配信】 「労務管理・コンプライアンスが必要な理由」 ・法令違反のリスクと対策の考え方 ・労務（雇用）トラブルが起こりやすい職場の特徴 ・管理者の人事・労務管理のポイント他 「最新の労働関連法令の改正情報」 ・労働条件の明示ルールの改正の伴う実務ポイント ・育児・介護休業法関係 ・社会保険の適用範囲の拡大 「福祉施設におけるハラスメント対応策」 ・福祉施設におけるカスカラ ・その他のハラスメントの傾向と対策 「労務トラブルにならない職場づくり」 ・メンタルヘルス等 ・退職手続きと話の進め方	生活相談員	1

11月30日	茨城県高次脳機能障害 支援センター	高次脳機能障害支援要請研修	・障害特性の理解と対処方法 ・環境調整による支援と記録に基づく支援の評価	生活相談員	1
12月1日	独立行政法人 自動車事故対策機構	運行管理者一般講習	・令和4年度中の交通事故の発生状況 ・事故の背景にある要因とその対策 ・事故防止対策等に関する情報 ・安全運行の確保に必要な指導事項等 ・行政の動向	サビ管	1
12月9日	茨城県介護福祉士会	たん吸引等実施研修 （指導者講習会）	「介護職員等によるたん吸引の制度の概要」 ・茨城県における現状報告 ・介護職員によるたん吸引等研修カリキュラムについて 「たん吸引のケア実施指導について」 ・ケアに関する知識・技術における指導のポイント ・指導・評価の手順 「経管栄養のケア実施指導について」 ・ケアに関する知識・技術における指導のポイント ・指導・評価の手順 「安全管理体制とリスクマネジメント」 ・ヒヤリハット・アクシデント報告の意義と実際 ・事故発生の防止・体制整備の実際 ・ケア実施に必要な体制整備の概要と各職種の役割 「たん吸引のケア実施についての指導のポイント（演習）」 「経管栄養のケア実施についての指導のポイント（演習）」	看護師	2
12月12日	茨城県社会福祉協議会	コーチング研修	講義・演習 「人を育てる！コーチング」 ・リーダーの役割と育成力 ・コーチングとは？ ・コーチングの基本 ・タイプ別コミュニケーション ・コーチングの進め方 ・リーダーに求められる聴く力 ・部下・後輩の困りごと聴くときのポイント ・質問で答えが変わる ・困ったスタッフとの接し方 ・信頼されるリーダーになるために	生活支援員	1
12月13日	茨城県福祉施設士会	ヘビークレーム対応研修	【Zoom】 講義「利用者及び家族からのヘビークレーム対応について」	理学療法士	
12月16日	全国社会福祉法人 経営者協議会	リスクマネジャー養成講座	【録画配信】 ・リスクマネジメントの基本理解 ・リスクマネジャーの役割と本講義の目的 「リスクマネジメント総論」 ・福祉サービスにおけるリスクマネジメント 「リスクマネジメント各論」 ・質改善のためのマネジメント体制構築 ・自主点検の考え方と手法 ・苦情・相談対応と事故発生時のリスクマネジメント ・福祉サービスにおける虐待防止 ・感染症対策を前提とした組織マネジメント 「リスクマネジメント手法」 ・事故予防とアセスメント ・アセスメントと個別契約そ策定～アセスメントシートの活用 【Zoom】 「リスクマネジメントの手法」 ・福祉サービスにおける業務手順書の活用 ・質の高いサービス提供のための取組～KYTと5S活動 「演習」アセスメントの個別計画と策定 ・リスクマネジメントツールとしての記録のポイント ・福祉サービスにおける虐待・権利侵害の防止に向けた体制整備	生活支援員	1

12月19日～ 12月20日	関東甲信越地区身体障害者 施設協議会	第42回関東甲信越地区 身体障害者施設職員研修大会	シンポジウム・実践報告 「障害者の意思決定支援」 記念講演 「地域共生社会と意志決定支援～神奈川からの発信～」	施設長 サビ管 理学療法士 調理員	4
12月26日	茨城県社会福祉協議会	チームリーダー研修	講義・演習 「リーダーとしての心構えと取るべき行動とは」 ・リーダーに期待されることとは何か ・日常の振り返り ・自分自身の現状を確認する ・リーダーの行動の基本 ・リーダーシップとは何か ・心理的安全性とチームの在り方 ・チームビルディング（組織構築）とは ・自分のリーダーとしての未来像を描く ・リーダーシップ発揮に向けて	看護師	1
1月8日	全国社会福祉法人 経営者協議会	リスクマネジャー実践講座	【録画配信】 ・養成講座の振り返り ・福祉サービスをめぐる国の動向 ・組織的な質改善の進め方 ・福祉サービスにおける法的責任～判例解説 ・福祉サービスにおける虐待防止 ・緊急時の初期対応 ・災害対策と事業継続計画の考え方 ・感染症対策と事業持続計画の考え方 【講義・演習】 「リスクマネジャー実践講座の受講にあたって」 「虐待・権利侵害の防止に向けた体制整備」 「事業継続計画の策定と組織マネジメント体制」 【演習】緊急時対応シュミュレーション	生活支援員	1
1月16日	全国社会福祉法人 経営者協議会	質の高い福祉サービスを提供するための 実践改善・業務効率化セミナー	「生産性の定義」 「生産性の理念」 「業務改善で大切な事」 ・業務標準化・帰属意識・顧客の視点 「業務改善の取組について他法人との情報交換で多かった内容と取組のポイント ・人材不足・人材育成	理学療法士 サビ管	2
1月16日	茨城県心身障害者福祉協議会	茨城県障害者虐待防止・権利擁護研修	【行政説明】 「令和6年度障害者虐待防止の理解・現状と課題」 障害者虐待防止法の理解と障害者虐待の現状について 講義・演習 「虐待が疑われる事案への対応」 「虐待防止委員会の活性化」 「身体拘束適正化委員会の運営」	生活支援員	1
1月16日	茨城県社会福祉協議会	給食担当職員研修	講義・演習 「噛む、飲み込む機能に配慮したお食事をアップデートしませんか！？」 ①咀嚼機能の低下や誤嚥の危険性に配慮した調理のポイント ・飲み込みやすい食事を作る際に配慮すべきポイント ・嚥下調整食の調理器具の選定方法や下処理などのポイント ②調理デモンストレーション及び解説 ・栄養を低下させない食事作り（ペースト食～きざみ食まで） ③試食及びグループディスカッション ・『つなぎ』を理解し、嚥下調整食作りを考える ・正しいとろみの付け方と段階を理解する	調理員	1

1月23日	茨城県社会福祉協議会	業務改善力向上研修	講義・演習 「モノと情報の整理整頓することで業務改善を実現する」 ・私たちの福祉職場がなぜ忙しいのか ・５Sの現状を把握する ・仕事の段取り力 ・チームメンバー・上司を納得させる解決提案スキル	サビ管	1
1月25日～ 1月26日	公益財団法人 日本レクリエーション協会	障害者のための レクリエーション支援者育成研修会	「レクリエーション総論」 ～「みんなで楽しく」から「みんなが楽しく」のレクリエーション ・レクリエーション・プログラム考えるためのAPIEプロセスの理解 ・ビデオゲームを使用したレクリエーションの可能性 ・対人援助の原則に基づくグループコミュニケーション ～一人一人を大切にするグループ体験～ 「まるごとの身体そのもの」があアートになる！ ～より楽しく個性を引き出す表現活動～ 「語ろう～新時代にふさわしいレクリエーションはこれだ！」	生活支援員	1
11月15日 11月22日 12月20日 12月27日	社会福祉法人 愛の会	介護福祉士　実務者研修	介護福祉士　実務者研修	生活支援員	1
11月8日 11月29日 12月20日 1月11日	社会福祉法人 愛の会	介護福祉士　実務者研修	介護福祉士　実務者研修	生活支援員	1
1月22日	全国社会福祉協議会	障害者虐待防止マネジャー研修	行政説明「虐待防止のための取組状況」 基調報告「虐待防止の取組と権利擁護の組織風土づくりについて」 演習「事前課題に記載した自施設での取組」や実践をもとに虐待防止・権利擁護 について意見を交換する。	サビ管	1
1月26日	公益財団法人 社会福祉振興･試験センター	介護福祉士国家試験	介護福祉士国家試験	生活支援員	2
2月1日	公益財団法人 社会福祉振興･試験センター	精神保健福祉士国家試験	精神保健福祉士国家試験	生活支援員	1
2月3日	茨城県社会福祉法人 経営者協議会	茨城県経営協セミナー	講義Ⅰ 「協働化も大規模化も社会福祉法人が決める！ ～昨今の社会保障・社会福祉をめぐる動向と全国経営協の取組を踏まえて」 講義Ⅱ 「災害に負けない！全国経営協の災害支援の考え方と取組」	副施設長 理学療法士	2
2月4日	茨城県社会福祉協議会	虐待防止研修	講義・演習 「日々のケアを振り返り、ケアの合理的配慮を考える」 ・「虐待防止法」について（なぜ虐待防止法が出来たか） ・利用者をどうとらえているか（人として・専門職として） ・グレーゾーンから考える（不適切支援・ケアについて考える） ・虐待の無い福祉現場（ケアの合理性を考える） ・虐待のない組織づくり（なんでも言い合える組織風土・ストレスケア）	生活支援員	1

2月6日	茨城県	茨城県介護事業者トップセミナー	講演 「あなたのチャレンジが新しい社会福祉を創る」 「外国人の採用と成長する組織戦略」	副施設長 理学療法士	2
2月13日	茨城県社会福祉協議会	看護職員研修	【Zoom】 講義「子供の急変の気付きと対応」（小児） ・子供の急変とは ・てんかん発作時の観察と対応 ・食物アレルギーの観察と対応 ・医療的ケア児の看護 ・子供の一次救命処置について 講義「急変の予兆への気付きと急変時対応」（大人） ・急変の予兆とは ・気道、呼吸の観察と異常徴候への対応 ・意識の観察と異常徴候への対応 ・痙攣発作の見分けかたと対応 ・心停止急変への対応	看護師	1
2月14日～ 2月15日	心身障害児総合医療 療育センター	医療的ケア看護師講習会	講義 ＜呼吸障害＞ ・踏まえておくべき病態（喉頭軟化症、気管軟化症等 ・姿勢管理（ポジショニング）の基本 ・口鼻腔吸引・気管切開のケアの実際的事項（気管カニューレ事故抜去の予防と対応、気管切開ケースでの呼吸状態悪化時の対応、カニューレフリーでの注意点等）、酸素療法・人工呼吸器療法の注意点 ＜経管栄養＞ ・経管栄養で踏まえておくべき病態（嚥下障害・誤嚥・胃食道逆流症・十二指腸通過障害等） ・経管栄養の実際的注意点（経鼻胃管挿入困難例での挿入方法等） ・重症児者での胃瘻の注意点等	看護師	1
2月26日	全国社会福祉法人 経営青年会	組織人材マネジメント委員会主催セミナー	「現場で使えるコミュニケーション術 ～わかりやすく伝えて、人と組織を育てる～	理学療法士	1
2月27日	茨城県社会福祉協議会	管理・代表者研修	【Zoom】 講義「人手不足」3つの視点と実践 ①「人手不足」の現状 ②「生産性向上」のポイント ・業務の効率化 ・時間管理の把握と改善 ③「人的資源管理」のポイント ・人事評価を再考する ・評価項目と評価の計算式 ④「人材確保」採用力向上の6つの手法 ・採用体制の変革 ・受入体制見直し、職場環境の改善 ・都度調達ではない長期の人財委育成 ・採用基準の作り方 ・こんな人材は採らない！面接での見極め方 ・選ばれる事業所になる広報戦略と貢献活動	理学療法士	1

3月5日	全国身体障害者施設協議会	経営セミナー	「令和6年度障害福祉サービス等報酬改定影響調査　結果報告」 「新しい【障害】者支援施設の創造を通してケアコミュニティーを実現 するために」 「障害保健福祉施策の動向について」 「意志決定支援を考える」 「次世代の福祉人材を確保するために～学生が障害者支援施設に求めている事」	サビ管 生活相談員 生活支援員	3
3月6日～ 3月7日	心身障害児総合医療 療育センター	摂食・嚥下（基礎・実習）講習会	講義 「嚥下障害・誤嚥の病態と対応」 「食事指導－OTの立場から」① 「食事指導－OTの立場から」②	言語聴覚士	1
3月8日～ 3月9日	全国障害者総合福祉センター 戸山サンライズ	「個別支援計画」作成および 運用に関する研修会	【本研修会のねらい】本人中心の支援とは何か 講義①・意思決定支援しついて 講義②・本人中心の支援計画`現状と課題の整理～ 講義③・本人中心のニーズ整理 セッション①・希望する生活～現状の整理 セッション②・本人ニーズの整理 セッション③・グループ発表とコメント① セッション④・ニーズ整理シートの修正と希望する生活の検討 セッション⑤・サービス等利用計画の作成 セッション⑥・グループ発表とコメント② セッション⑦・個別支援計画の作成① セッション⑧・個別支援計画の作成② セッション⑨・グループ発表とコメント③ セッション⑩・個別支援計画の修正	生活支援員	1